

# 社会科

・ 調査結果と考察	-----	42
・ 学習指導改善のために	-----	49
・ 問題構成表	-----	59
・ 調査問題と正答率	-----	61
・ 採点基準及び個別応答票記入上の手引き	-----	67
・ 応答状況一覧表	-----	70

# 社会科の調査結果と考察

## 1 出題のねらいと出題内容

地理的分野と歴史的分野の学習状況をみるために、第2学年の1月までの内容について出題した。歴史的分野は、幕末から明治時代の問題を12問、大正から昭和初期までの問題を7問、地理的分野は、「世界と日本の地域構成」から6問、「地域の規模に応じた調査」から12問、「世界と比べた日本」からは「日本の気候」に関して3問を出題した。また、ペーパーテストでは把握しにくい関心・意欲・態度をみるために質問紙による意識調査も行った。

## 2 調査結果と考察

地理的分野及び歴史的分野の平均正答率は、表のとおりである。未履修の問題がある内容についてはそれを除いた数値で示した。

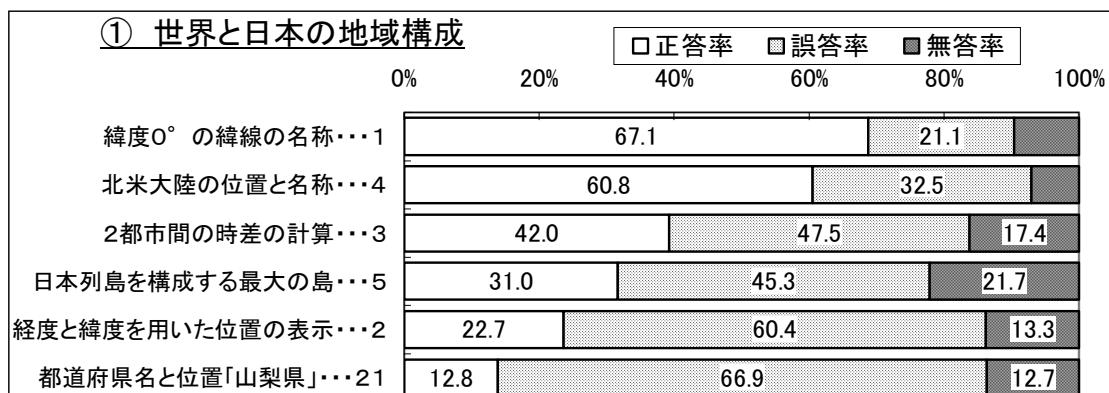
【地理的分野】	正答率	【歴史的分野】	正答率
世界と日本の地域構成	40.0%	幕末から明治時代	51.2%
地域の規模に応じた調査	62.7%	大正から昭和初期	52.1%
日本の気候	46.8%		
全体	53.8%	全体	51.5%

以下、内容別応答状況を正答率の高い順にグラフに示し、調査結果について考察する。

### (1) 地理的分野

#### ① 世界と日本の地域構成

\*グラフ中の「・・・1」は調査問題の通し番号①を表す。



平均正答率は40.0%と低い。第1学年の1学期の学習内容だが、都道府県の位置や名称、緯度と経度を用いての位置の表し方、日本列島を構成する主な島の名称等は、世界や日本を地理的に認識する上で必要な基礎的、基本的な知識として、すべての生徒に確実な定着を図りたい。

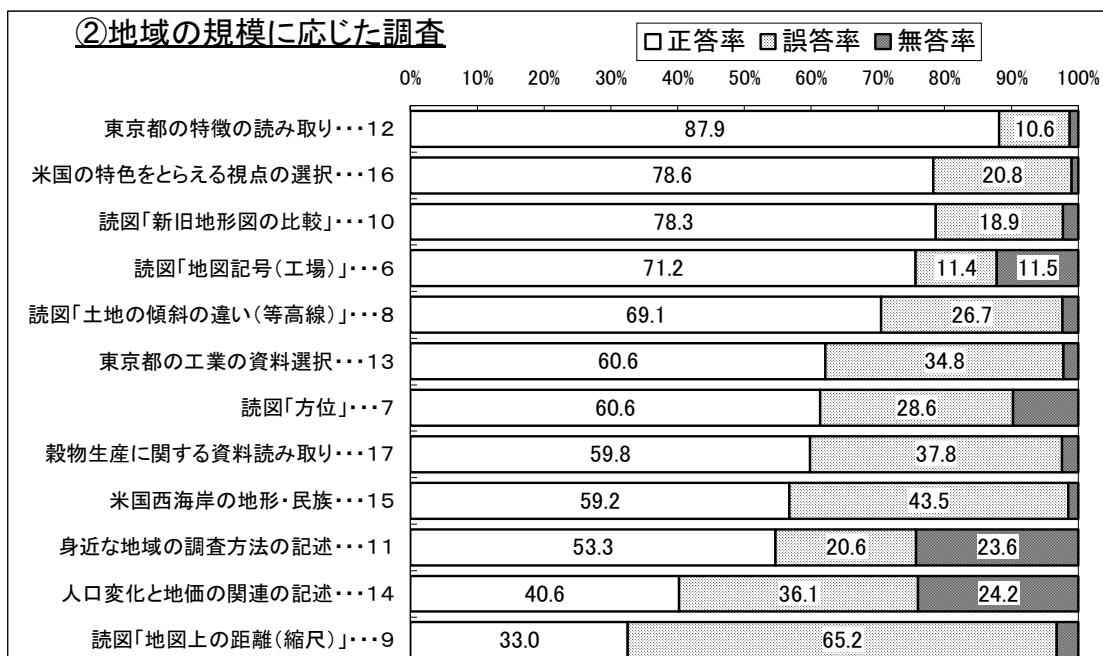
都道府県の位置と名称に関する問題は、右の文で説明している県を地図上の1, 2, 3, 4の中から選択させ、県名を答えさせるというかたちで出題した。山梨県の位置と名称の両方を正しく解答したものとし、正答率は12.8%であった。位置または名称のみを正しく答え



ているものは 9.8% となっている。都道府県の位置と名称を確実に身に付けるためには、生徒一人一人の既得知識を確認し、適宜機会を設けて計画的に指導することが大切であり、指導の一層の充実が望まれる。

地図上に示した地点 X (南緯 30°, 西経 135°) の位置を答えさせる問題の正答率は 22.7% で、「南緯」「西経」を用いていない誤答が多くみられた。緯度と経度の意味をよく理解させ、地球上の位置の表し方や球面上の位置関係をとらえる技能や知識を身に付けることができるようとする必要がある。

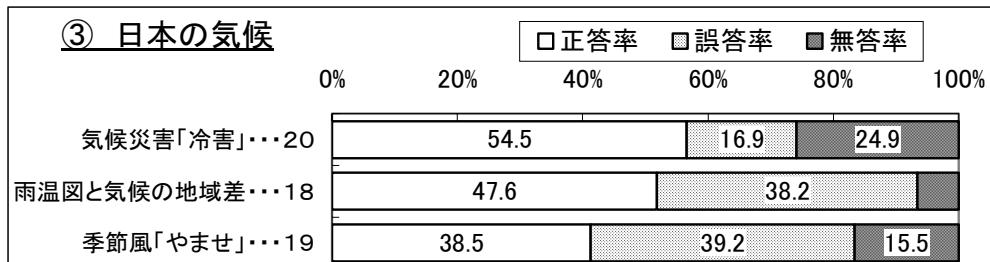
## ② 地域の規模に応じた調査



平均正答率は 62.7% で、他の内容に比べて高くなっている。中でも、関東各都県の人口や産業に関する数値から東京都について正しく読み取っている文を選択する問題では、正答率が 87.9% と最も高かった。

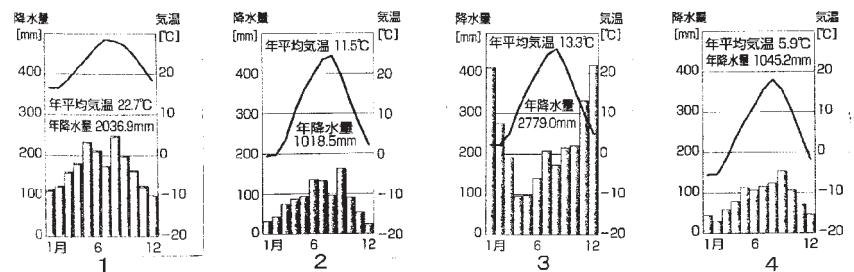
地形図の読図を中心とした問題の正答率は、「地図記号」が 71.2%, 「土地の傾斜の違い」が 69.1%, 「方位」が 60.6% で、いずれも 6 割を超えており、「地図上の距離」は 33.0% と低い。この問題は、25000 分の 1 の地形図上で表される 1.5 cm の距離が実際には約何 m であるかを選択肢で答えさせるものである。誤答率が 65.2% と高く、「約 3750m」が 39.6%, 「約 37500m」が 18.9% であった。前回（平成 13 年度）の調査でも正答率は 33.2% と低く、指導上の課題といえる。身近な地域の学習においては、縮尺の大きな地形図を活用しながら地域調査を行ったり、調査活動を通して明らかになったことを地形図に表したりするなどの作業や体験を伴う学習を工夫して、距離や空間的な広がりについて具体的にとらえることができるようとすることが大切である。

## ③ 日本の気候



平均正答率は 46.8%である。「自然環境から見た日本の地域的特色」に関する内容であり、学習時期を考慮して出題したが、約2割が未履修であった。

グラフから気温と降水量の月別の変化を読み取り、上越市の雨温図を選択させる問題の応答状況は、下の表のとおりである。国内の気候の地域差に関する知識については、十分に定着しているとはいえない。学習内容として「南と北、太平洋側と日本海側、内陸部と臨海部とでは、気温、降水量と、その月別の変化などに違いがみられ、それらをもとに各地の気候を比較すると幾つかに気候区分できること」を取り扱い、気候における地域差をとらえることができるようになることが大切である。



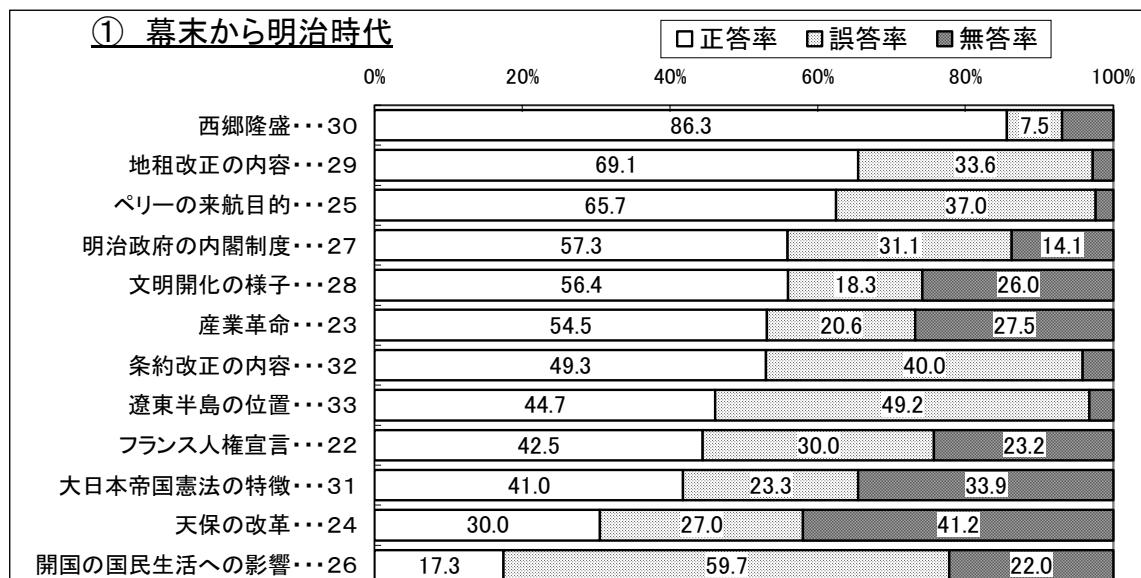
選択肢	1 那覇市	2 松本市	3 (正答) 上越市	4 札幌市	無答
応答状況	9.1%	25.5%	47.6%	11.2%	6.0%

「雨温図と気候の地域差」の応答状況

## (2) 歴史的分野

歴史的分野の平均正答率は 51.5%である。歴史的分野は、前回の調査と同一、あるいは類似の問題で出題しており、過去の調査結果との比較も交えながら結果の分析と考察を行う。

### ① 幕末から明治時代



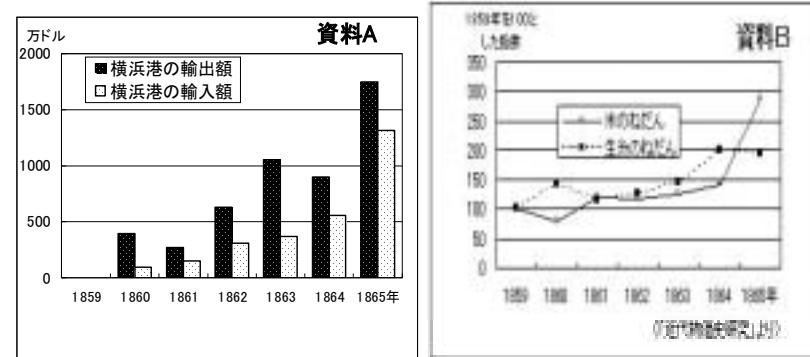
平均正答率は、51.2%である。今回の調査でも、西郷隆盛、地租改正、ペリーの来航に関する問題の正答率が高い。ペリーの来航について、前回は、年表の空欄にあてはまる人物名として「ペリー」を答えさせるものであったが、今回は、来航の目的について選択肢から選ぶかたちに変えて出題した。正答率は 65.7%で、来航の目的がアジアへの進出に伴う補給港の確保であったことは概ね理解している。産業革命に関する問題の正

答率は 54.5% で、前回より 11.7% 高くなっている。大日本帝国憲法の作成にあたってプロイセン憲法を参考にした理由を記述する問題の正答率は 41.0% で、前回より 3.8% 向上した。記述式の問題としては、この他に「文明開化」といわれる人々の生活の変化を具体的に記述する問題も出題しており、いずれも、正答率は前回より高く、無答率は低くなっている。この結果から、幕末から明治維新にかけての基礎的、基本的内容に関して、定着が図られていると思われる。

一方、正答率が最も低かったのは、開国後の貿易に関するグラフと物価の上昇に関するグラフを読み取り、庶民の生活がどのように変化したかを記述する問題である。正答率は 17.3% で、グラフの読み取りのみを記述し庶民の生活につい

6

次の資料は、開国後の貿易額と物価の移り変わりを表しています。開国後に貿易が始まって庶民の生活がどのように変わったか、資料 A と資料 B を見て、簡潔に答えなさい。



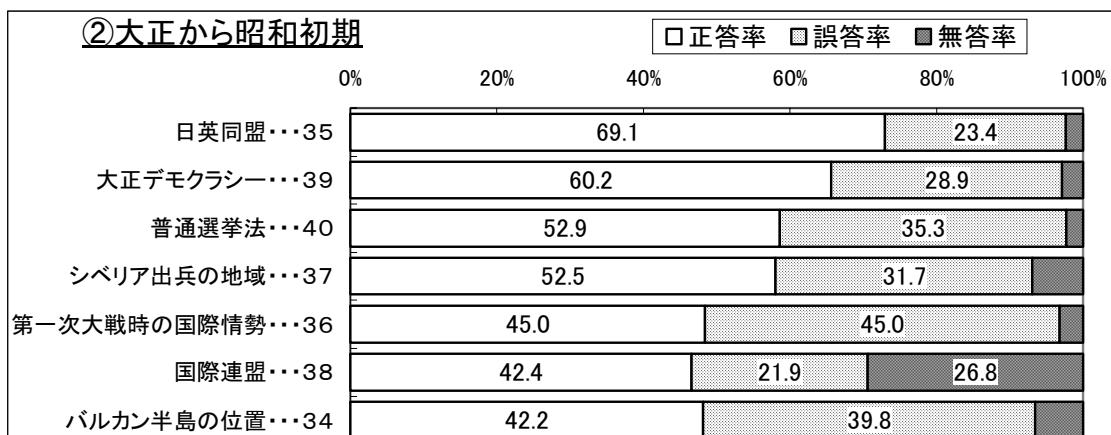
「開国の国民生活への影響」を記述する問題

て述べていない誤答は 22.5%、無答率は 22.0% となっている。資料を読み取り、政治、経済をはじめとする時代の特色について考察する学習が十分でないことが推察される。統計資料の数値や傾向を読むだけでなく、歴史的事象とつなげて数値の意味することやそこから推測できることなどを考える学習を大切にしていただきたい。

幕末の諸改革のうち、「天保の改革」を答えさせる問題の無答率が 41.2% と高い。幕府の政治と政治の行き詰まりについては改革の背景としての財政の悪化や改革の結果に着目させるなど、代表的な事例を通して改革の内容や前後関係を理解させる必要がある。

条約改正については、「関税自主権の回復」を選択した誤答が多かった。関税自主権と領事裁判権において日本は不利であったということを知っているが、いつ、どのような内容に改められたかについての理解は十分とはいえない。歴史的事象や用語を覚えるだけではなく、その背景や時代の特色と関連させたり、歴史的事象が時代の推移とともにどのように変化していくかを考察させたりする学習の工夫が望まれる。

## ② 大正から昭和初期



平均正答率は 52.1% である。第一次世界大戦から普通選挙までの問題は、未履修が約 2 割あった。

歴史的事象にかかわる地域の位置を問う問題は、地図上に示した複数の場所を選択肢で回答するかたちでの出題である。正答率は前回の調査より向上し、「シベリア出兵の地域」が 52.5%、「バルカン半島の位置」が 42.2% であった。今後も、歴史の舞台となった地域の位置や勢力範囲を地図で確認したり、歴史的事象によっては地理的条件に着目して取り扱ったりするなど、地理的分野との連携を踏まえた指導を充実してもらいたい。

選択肢で回答する問題では、第一次世界大戦当時の国際情勢に関する問題での正答率が 45.0% と低かった。近現代の歴史については、世界の動きとわが国との関連をとらえさせることが大切である。当時の社会背景や因果関係に着目させ、年表や歴史地図も活用しながら、理解を確かなものにしていくよう指導の工夫が望まれる。

8	3 年表中B(1915 年「中国政府に二十一か条の要求を出す」)のときのヨーロッパの状況について正しく述べた文を、次の1, 2, 3, 4の中から一つ選んで、その番号を答えなさい。	
1	イギリスやフランスは、ヨーロッパでの戦争に精一杯で、アジアの状況をかえりみるほどの余裕はなかった。	正答 (45.0%)
2	イギリスは、アジア貿易に乗り出そうとしており、東インド会社をつくった。	(9.1%)
3	フランスでは、ナポレオンが出現し、周辺の国々を次々に従えていった。	(11.4%)
4	ドイツは、ソ連と不可侵条約を結んだうえでポーランドに侵入し、翌年にはパリを占領した。	(31.0%)

### 「第一次大戦時の国際情勢」に関する問題

### (3) 意識調査

前回（平成 13 年度）と同様に、地理や歴史に関する関心や態度、社会科の学習に対する楽しさや有用感などの意識について調査を行った。地域的特色をとらえる視点や方法などを学ぶ学習が重視されるようになったことから、今回、「授業で学習した都道府県や国以外についても調べてみたいことがあるか」という問い合わせを加え、6 項目について質問した。

意識調査の質問と調査結果は、次ページのとおりである。結果については、比較のために、前回の調査結果と平成 14 年度に小学校第 5 学年を対象に実施した調査結果も併せてグラフに示した。結果と考察について以下に述べる。

「学習を楽しいと感じことがあるか」という質問 1 に対して「よくある」「わりとある」を合わせた肯定的な回答が、歴史の学習では 60.9% であるのに対し、地理の学習では前回より低下し、44.9% となっている。また、質問 1 と質問 6 での回答の割合が同程度であり、地理の学習に対する「楽しさ」の感じ方と、授業での学習を発展させていく意欲には共通の傾向がみてとれる。質問 3 の「知らない地名（国名）や歴史上の人物、出来事聞くと、地図帳や年表などで調べようとするか」に対する回答は、「あまり調べない」が 45.5%，「調べない」が 18.7% となっており、およそ 3 分の 2 に当たる生徒は、地図や年表の活用に対して消極的であることが分かる。質問 5 の「社会科の学習はこれからの自分の生活に役立つと思うか」については、「とても思う」が 15.0%，「わりと思う」が 42.4% であり、いずれも前回の調査結果より低下している。また、小学校第 5 学年と比較すると、その差は著しく、社会科の学習が生活に役立つと思う「有用感」を感じている生徒は少なくなっている。

これらのことから、社会科の学習に対する楽しさ有用感を感じている生徒はあまり多くなく、学習で身に付けた知識や技能がその後の学習や生活に生きて働くものになっていないことが分かる。学習で身に付けた知識や能力などを社会生活の中で生かせる子どもを育てることは、社会科の役割であり課題でもある。生徒自身が学習を通して学び方や調べ方の高まりを自覚し、その後の学習や生活の中で応用・転移できる知識や能力を獲得できるような指導の工夫・改善が、今後一層望まれる。

## 意識調査（平成15年度）

質問1 地理の学習を楽しいと感じることがありますか。

- ①よくある。 ②わりとある。 ③あまりない。 ④ほとんどない。

質問2 歴史の学習を楽しいと感じることがありますか。

- ①よくある。 ②わりとある。 ③あまりない。 ④ほとんどない。

質問3 知らない地名(国名)や歴史上の人物、出来事を聞くと、地図帳や年表などで調べようとしていますか。

- ①よく調べる。 ②わりと調べる。 ③あまり調べない。 ④調べない。

質問4 地域の自然や人々の暮らし、歴史上の人物や出来事などを取り上げたテレビ番組や雑誌を見ることがありますか。

- ①よくある。 ②わりとある。 ③あまりない。 ④ほとんどない。

質問5 社会科の学習は、これから自分の生活に役立つと思いますか。

- ①とても思う。 ②わりと思う。 ③あまり思わない。 ④思わない。

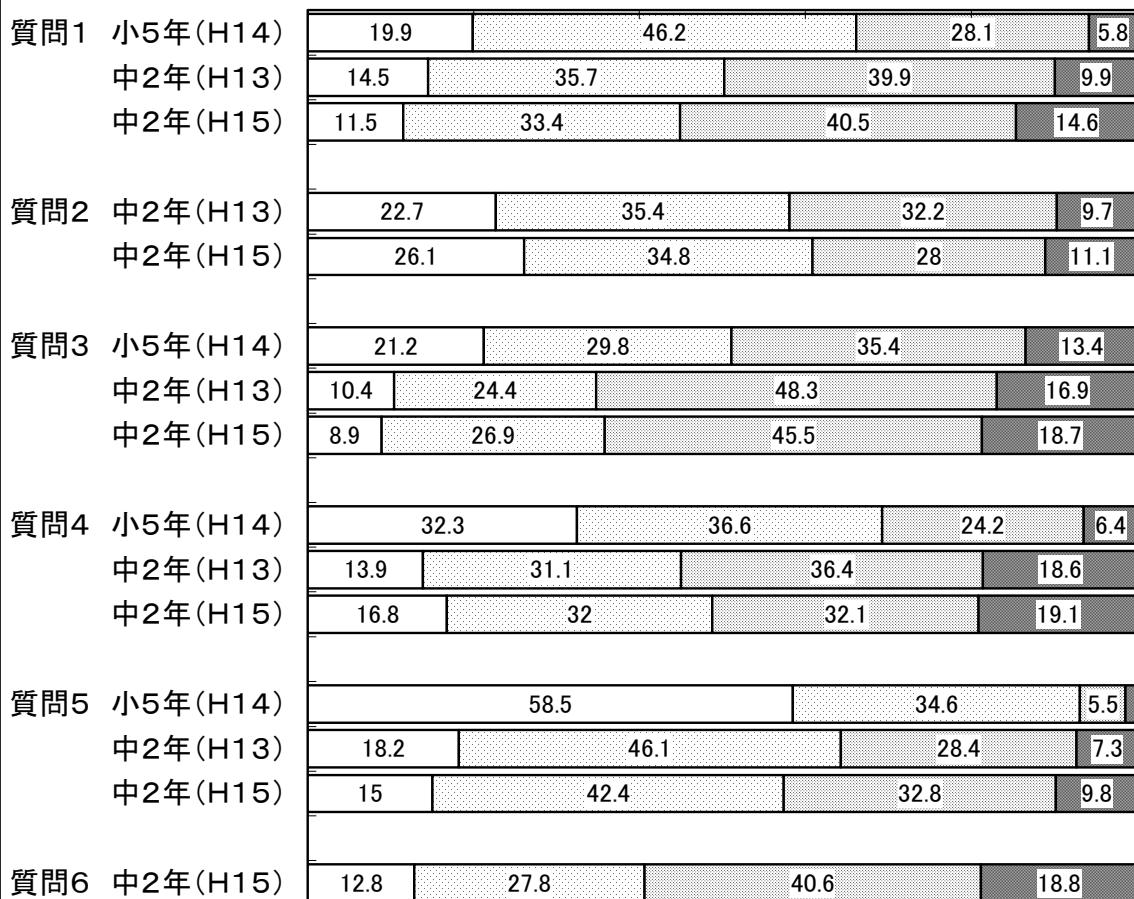
質問6 授業で学習した都道府県や国以外についても調べてみたいと思うことがありますか。

- ①よくある。 ②わりとある。 ③あまりない。 ④ほとんどない。

## 意識調査結果

□① □② □③ □④

0% 20% 40% 60% 80% 100%



\* 中学校と小学校では質問が一部異なるため、地理的分野にかかる内容のみを比較している。

### 3 まとめと今後の課題

ここでは、調査結果及び意識調査からみられた本県の中学校第2学年の社会科の学習状況についてまとめ、今後の課題と学習指導のポイントについて述べる。

- 統計資料の数値や傾向、史料の内容についての読み取りは概ねできている。各学校で、グラフや文書資料などの具体的な資料に基づいた学習が行われているためと思われる。
- 地理的分野では、都道府県の位置や名称、地図や地球儀上での位置の表し方や縮尺、日本の気候の地域差に関する知識や技能の習得について課題がみられる。地理的技能は、一度の学習や経験で身に付くものではなく、学習を繰り返す中で、次第に習熟の程度を高めるかたちで身に付けるものである。世界や日本を地理的に認識するまでの基礎的事項については、繰り返し学習したり、関連ある学習において適宜取り扱ったりして、確実な定着を図る必要がある。地図や地球儀を積極的に活用し、確かな地理的認識ができるよう指導の工夫が望まれる。
- 歴史的分野では、個別の歴史的事象とその歴史的背景を関連させての理解が十分ではない状況がみられる。個々の歴史的事象の意味や内容を考えさせるとともに、その時代の全体像をとらえさせることが課題であると考えられる。年表や歴史地図も活用しながら、社会背景や因果関係に着目させるような指導を工夫し、歴史的事象についての理解を確かにしていく必要がある。
- 意識調査からは、地理的分野の学習の「楽しさ」や、社会科の学習に対する「有用感」を感じている生徒の割合が低下していることが分かる。学習をとおして学び方や調べ方の高まりを自覚し、身に付けた知識や能力などを生活の中で生かせるようにすることが課題といえる。その後の学習や生活の中で応用・転移できる知識や能力を獲得できるような指導の工夫改善が求められる。
- 一部の問題が未履修となった学校があり、授業時数減に伴って、地理的分野と歴史的分野の時間の配分や、年間指導計画に沿った授業の実施に苦慮している様子がうかがえる。学習指導要領改訂の趣旨を理解し、基礎・基本が確実に身に付くよう指導内容を組み立て、計画的に指導にあたることが望まれる。

# 社会科の学習指導改善のために

学習状況調査の結果からみえてきた課題を踏まえ、社会科の学習指導工夫についての提案をQ&Aの形でまとめました。これまで行ってきた学習指導を再確認し、指導の充実と改善を考える際の参考にしてください。

## Q1 都道府県の位置と名称の定着を図るにはどのような工夫が必要でしょうか。

都道府県の位置と名称については、第1学年で学習する「都道府県の構成と地域区分」の中で指導していますが、十分に身に付いているとはいえない状況です。「このように指導すれば、確実に身に付く」という特効薬のような指導法はないと思いますが、指導のポイントとなるようなことがあれば教えてください。

## A1 個人差に考慮し、生徒の工夫を生かしながら段階的に指導しましょう。

今回の調査では、「山梨県」の位置と名称を答えさせる問題を出題しました。47都道府県の中で「山梨県」が覚えにくい県であるとしても、正答率の12.8%は低い数字といえます。学習指導要領には、「生徒の既得知識を踏まえて、都道府県名のほかに都道府県庁所在地名も取り上げること。」と記されており、日本の地域構成をとらえる基本的な知識として、すべての生徒にしっかりと身に付けさせる必要があります。「覚えておくように」と指示することは誰にでもできますが、こうした基礎・基本に関する学習内容であればこそ、すべての生徒に確実に身に付けさせるよう指導の工夫改善に努めたいものです。

### 1 都道府県の位置と名称に関する既得知識について、生徒の実態をとらえる

生徒が、どのような都道府県の位置と名称を知っているのか、知らないのか、覚え方にどのような傾向がみられるのか、まず、生徒の実態をとらえましょう。

白地図を用意し、知っている都道府県名と県庁所在地名を記入させます。漢字が分からないものについては、はじめは平仮名でもよいということで調査をしますが、できるだけ漢字で書くよう指導します。記入を終えたら地図帳で位置と名称を確認させ、自己採点させます。誤記や未記入については正しく書き直すよう指示し、朱書きしたものを提出させます。調査の結果は、生徒自らが、学習の目標や方向性を見定めたり、学習の成果を確かめたりする際の資料になります。学習のはじめの段階で、都道府県の位置と名称をどの程度覚えているかを確かめることは、これからどのように学習していくかを生徒自身に考えさせる上で必要です。また、特に重点を置いて指導すべき点が具体的に見えてくるはずですから、この結果を踏まえて学習指導を工夫していくとよいでしょう。

### 2 覚え方の傾向をとらえ、段階を追って覚えるように工夫する

都道府県の位置と名称に関する既得知識についての生徒の実態とともに、覚え方の傾向をとらえて、段階を追って覚えるように指導することも有効です。

多くの生徒は北海道から南に向かって順に覚えようとする傾向があり、北海道や沖縄、東北地方の各県については、認知度が高く、関東より西や内陸に位置する県については低いようです。次ページに、都道府県の位置と名称に関する「認知の傾向」と「学習指導の工夫」をまとめてみましたので、参考にしてください。

## 都道府県の位置と名称に関する認知の傾向

### 1 認知度の高い県の特色

- ・自分の住んでいる県を中心としたまわりの県
- ・日本の北端・南端、特に北海道から東北地方

(考えられる理由)

- ・情報量が多く、印象が強い
- ・授業で取り上げたことがある
- ・半島や島など、県の形状に目立つ特徴がある
- ・北から順に覚えようとする

### 2 認知度の低い県の特色

- ・自分の住んでいる県から遠い県
- ・関東地方より西側の県
- ・内陸県

※東西の位置関係にある都道府県を誤って覚えていることがある

## 都道府県の位置と名称に関する学習指導の工夫

- 自分が住む県に隣接する県から、同じ地方にある県へと広げていく。
- 北海道、四国、九州、次に、中国地方というように、順番を考え、地方ごとに取り上げるようにする。
- 県名の由来や特産物など、その都道府県に関する情報を加えて記憶に残るようにする。  
間違えやすい位置関係にある複数の県は、語呂合わせや言い換えの言葉で記憶する。  
(例) 系車(いとぐるま)  
○書き誤りやすい都道府県名を整理しておき、注意点としてあらかじめ指導しておく。
- ※書き誤りやすい都道府県名  
「岐阜」「鳥取」「新潟」「愛媛」「大阪」「埼玉」「山梨」「富山」「大分」「滋賀」「茨城」

### 3 多様な教材や学習活動を用意して個人差に対応する

生徒が興味をもって取り組んだり、達成感を味わったりできるような工夫や作業的な学習など、生徒の特性や学習負担を考慮した指導方法を考えましょう。覚えることだけを目的にしてしまうと、生徒によっては負担感や抵抗感を感じてしまうおそれがあります。生徒一人一人の個人差に対応できるよう多様な教材や学習活動を用意し、生徒が選択して主体的に学習に取り組めるよう条件を整えることが必要です。また、生徒がクイズやカードを作って問題を出し合ったり、覚える順序や覚え方のこつを友達に紹介し合ったりするなど、生徒の発想や工夫を学習に生かすのも工夫の一つです。その際、生徒の努力や成果を認める言葉かけや、課題解決のヒントになる助言を行い、教師が学びの過程に積極的にかかわることが大切です。生徒は、教師からの肯定的な眼差しやコメントに励まれ、学習への意欲や自信を高めていくことでしょう。不確かなものが確かにになり、知識が増えていくことを実感できるような指導の工夫が望まれます。工夫次第では、単調で面白味のない学習になりがちな内容でも、生徒の意欲を高め、楽しく学習することができると思います。

### 4 必要に応じて、繰り返し学習できる機会を設ける

学習指導要領には、「国名や都道府県名を確實に身に付けさせる観点から、適宜機会を設けて

計画的に指導すること」とあります。一度は覚えた知識でも、それを使う機会がなければ忘れてしまうのは当然です。忘れないようには、折に触れて思い出させる作業や発問が必要になります。範囲や時間を決めて授業のはじめに確認テストを行ったり、都道府県や日本の特色をとらえる学習の前後に確認する場面を設けたりして、何度も繰り返すことによって身に付けていくことができます。また、普段の学習や生活の中で地図帳の使用頻度を高め、活用することも大切です。地図帳の活用の仕方や使う場面を学ばせていくことは、社会科の学習指導の一つとして欠かせないことです。

#### Q2 学び方の学習を充実させるにはどのような工夫が必要でしょうか。

学習指導要領には、「学び方を学ぶ学習の一層の充実を図る」とあります。地理的分野の「地域の規模に応じた調査」では、事例として取り上げた地域について調べ、地域的特色をとらえる調べ方や学び方を学ぶようになっています。学び方を学ぶ学習を充実させるためにはどのような工夫が必要でしょうか。

#### A2 学習の過程を大切にし、習熟の程度を高めていくよう工夫しましょう。

都道府県や世界の国々の学習はこれまでに行われてきましたが、事例を通して地域的特色をとらえる視点や方法について学ぶことが重視されています。教科書の内容構成が大きく変わったこともあり、授業の進め方や事例の扱い方についての戸惑いがあるようです。

学び方を学ぶ学習を充実するためには、学習の過程を大切にし、習熟の程度を高めていくことが大切です。

#### 1 学習の過程を重視し、生徒自身が学び方を自覚できるような指導を工夫する

##### (1) 調査の視点や方法、まとめ方について見通しをもたせる

学び方を重視した学習指導においては、生徒自らが調査の過程を体験し、その活動をとおして、地理的な見方や考え方、調べ方などを学んでいくことが大切です。生徒自身が、調べ方やまとめ方について見通しをもち、主体的に学習を進めることができるようにならないものです。

そのためには、調査活動に入る前に、調査の視点や方法について話し合う場を設け、学習計画を立てさせるようにします。学習の対象となる地域に関する情報にはどのようなものがあるか、とした情報はどこで、どのようにすれば入手できるのか、集めた情報をどのように選択、整理し、まとめ、伝えるかなど、情報の収集、選択、整理、伝達の仕方についてよく話し合い、学習計画を立てておくことが必要です。

地理的な調べ方は、右のように整理することができます。「資料の収集・整理」「課題の設定と考察」「調べた結果の整理・伝達」といった基本的な流れと学習時間を生徒にも分かるよう示しておくことも大切です。

##### 1 資料の収集・整理

- ・ 地域に関する情報や資料を収集する。
- ・ 地域の環境条件、他地域との結びつき、人々の営みと関連付けるかたちでの資料を選択、分類する。
- ・ なぜこの地域にはこのような地理的事象がみられるのか、なぜこの地域はこのような特色をもっているのかという問い合わせをもとに課題を発見する。

##### 2 課題の設定と考察

- ・ 疑問をもとに追究課題を設定する。
- ・ 地理的見方や考え方を生かして、予想したり、分析、考察したりする。
- ・ 空間配置の規則性、地域の環境諸条件との関わり、他地域との結びつき、他地域との共通性、時間的な変容における意味などに着目する。

##### 3 調べた結果の整理・伝達

- ・ まとめ方を検討する。
- ・ 調べた結果を整理し地図化するなどして、まとめの資料を作成する。
- ・ 資料を提示しながら発表する。

## (2) 調査の「結果」と「過程」が見えるようにまとめ、発表させる

単元のまとめでは、調査結果だけでなく、調査活動の過程も分かるように表現するよう指導しましょう。一連の調査活動を振り返り、学び方を確かめることは、「学び方を学ぶ学習を一層充実する」という学習指導要領の趣旨を生かすことになります。どんな目的で調査するのか、どのような視点で、どのように調べたのか、その際どんな資料を収集し、それらをどう選択、処理、分析したら、どのようなことが分かったのかなど、学習の内容と方法について整理し、生徒が学び方を自覚できるように工夫することが大切です。

まとめ・発表の段階では、地理的な見方や考え方の基礎を学ぶという目標に照らして、次のポイントをおさえて指導するとよいでしょう。

- ・収集した情報を地理的特色と関連付けてまとめる。
- ・課題設定から追究の過程、情報の入手先や資料の内容が分かるようにまとめ、発表する。
- ・収集した情報を地図化するなど、表現の工夫をする。
- ・地域的特色を明確に表せる地図や写真などの資料を効果的に用いる。

具体的には、次のようなワークシートを作成したり、調査結果や過程について発表し質問し合う場や、調べる過程で工夫したことや苦労したことなどを報告する場を設けたりすることができます。また、「他の国を自分で調べるとしたら、どんなことを、どのような方法で調べますか。」と問い合わせ、発展的な学習につなげていくこともできます。

### ワークシート例

どんな学び方で、どこの地域をしらべるか、具体的に書こう。(例) 「他の国との比較や関連の視点から調べよう ～地域との結びつきを強めるフランス～」	地図に表すなどして、調べてわかったことを簡潔にまとめよう。資料の丸写しではなく、自分なりにまとめて書くこと。
1 題 「 _____ 。～～」年 組 名前 _____ 2 調査の目的 3 調査方法、資料 4 調査の結果 5 まとめ 6 感想	
課題設定の理由と、何を明らかにしたいかを書こう。 どんな資料で、どのように調べたか、情報の入手先や資料名、調査の方法について書いておこう。 どのような地域的特色をもつのか、そうした地域的特色がみられるのはなぜか、地域的特色やその理由について、わかったことと新たな疑問などを書こう。	世界地図の略図を描き、選んだ国の位置を示そう。 グラフや写真なども入れるとわかりやすい。 調査をして感じたこと、どんなことに関心をもったか、どんなことができるようになったか、さらに調べたいことなどを書こう。
「 _____ 」	

「他国との比較や関連の視点から国の特色をとらえるという学び方を、フランスを取り上げて学ぶことができたか」、それを整理するのが学び方を重視したまとめ方です。フランスの特色だけを確認して終わることのないように気を付けたいものです。

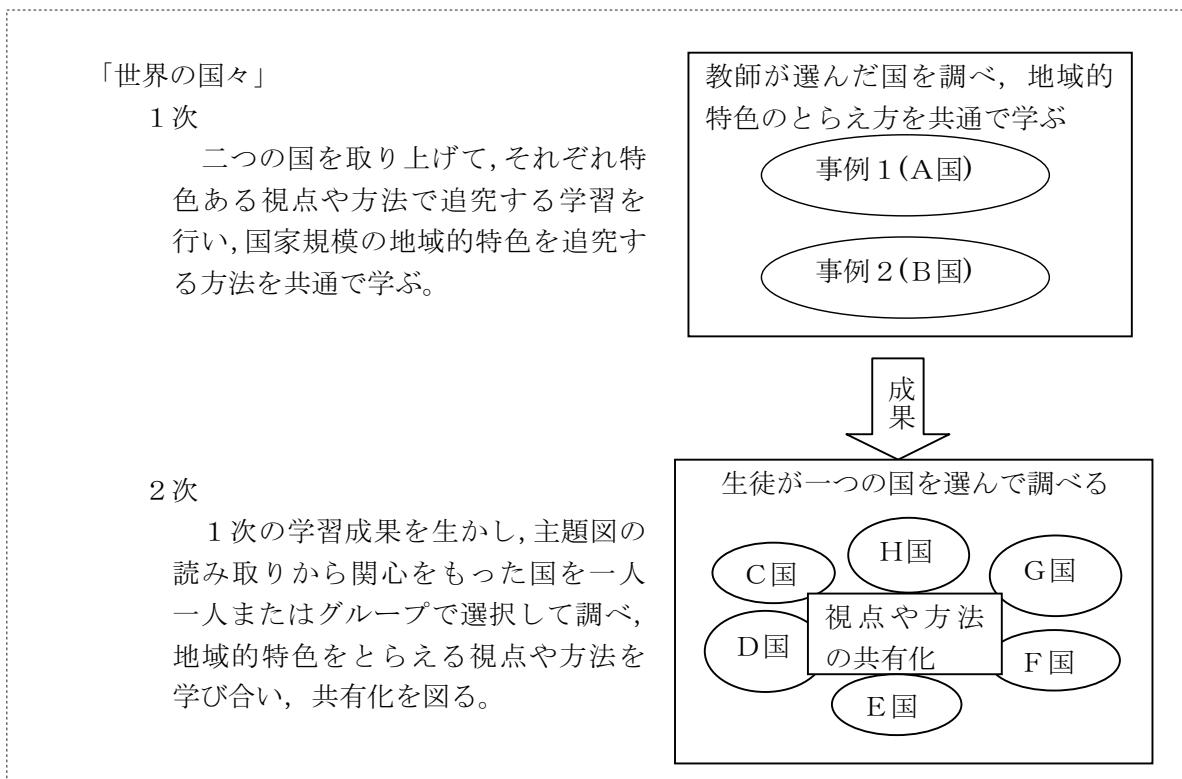
## 2 追究の視点や方法を明確にし、系統的・計画的に指導する

「地域の規模に応じた調査」では、身近な地域の調査、都道府県及び世界の国々からそれ二つか三つの事例を取り上げて、調査の視点や方法について学ぶことになっています。ここでは、それぞれの学習において育てたい学び方や調べ方を学習内容との関連から洗い出し、指導計画に位置付けておくことが大切です。

指導要領には、事例として選んだ国の取扱いに関して、「①その国の特色を全体として把握する」、「②その国についての資料を多様に収集し、多面的・多角的に追究させる」、「③国ごとの世界の主題図から特色を読み取る」の三つが述べられています。

ある国を事例として取り上げる際には、①②③のどれを重視するか、どう関連させるか、また、例示されてはいないが学ばせたい学び方はないかなど、その国の学習を通して学ばせたい学び方を明確にする必要があります。その上で、取り上げる国を選び、どのような意図で、どう扱うかということをよく検討して指導計画を立てることになります。

例えば、習熟の程度を高めていくという意図で、次のように三つの国を取り上げ、学習を開していくという単元構成も考えられます。



授業では、次の問い合わせを中心にして学習を進めていくといいでしよう。

- ・「その国には、どんな特色がみられるか」
- ・「どんな特色ある地域がみられるか」
- ・「そのような特色がみられるのはなぜか」
- ・「どのようなこと調べていくと、その国の特色がわかつてくるか」
- ・「何について、どのような方法で調べていくか」

地域の特色をとらえる視点や方法については、地域の規模に応じて、適切な視点や特色を学ばせるとともに、「都道府県」や「世界の国々」の学習それぞれの中でも、異なる視点や方法による追究の学習を経験できるようにすることが大切です。指導計画や実際の指導場面をもう一度見直し、系統的・計画的に指導していく中で習熟の程度を高めていくような指導の工夫が望まれます。

### Q3 歴史的事象を具体的にとらえさせるための工夫には、どのようなものがありますか。

歴史の学習は、出来事や人物名をただ暗記するだけなのでつまらないと感じている生徒がいるようです。出来事や人物について具体的にイメージできると、歴史を学ぶ楽しさも増すと思うのですが、歴史的事象を具体的にとらえさせるためは、どのような工夫をすればよいのでしょうか。

### A3 地図や絵画資料の活用、調査・見学の実施など、生徒の主体的な取組みを促すような学習活動を工夫しましょう。

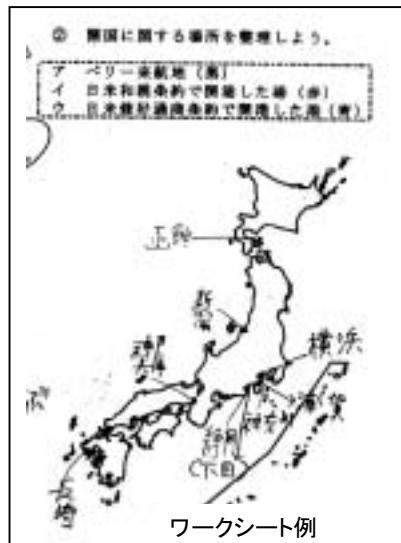
事件や出来事について5W1Hで整理するとよく分かるように、「いつ」「どこで」「誰が」「なにを」「なぜ」「どのように」という問い合わせがもてるとき、歴史的事象を具体的にとらえることができます。過去の出来事を体験することはできませんが、地図や絵画資料の活用、調査・見学の実施など、生徒の主体的な取組みを促すような学習活動を工夫することによって、歴史的事象についてのイメージを豊かにしていくけると思います。ここでは、いくつか例を挙げながらそうした工夫について述べます。

#### 1 歴史の舞台となった場所を確認する

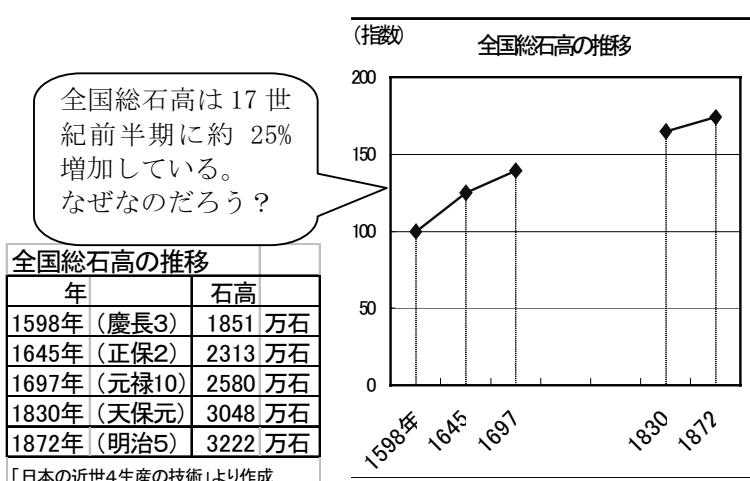
歴史の舞台になった場所や地域を知ることは、歴史への関心を高め、具体的な理解を助けます。単に地名として記憶するのではなく、地図上での位置を思い浮かべて認識しているのでは、歴史への関心と理解に大きな差が生じます。日本のどのあたりに位置するのか、そこはどんな地形で、どのような景観が見られるか。こうしたことを地図帳で確認し、想像してみると、歴史的事象のより具体的な理解につながります。また、なぜその場所なのかということを考えるきっかけにもなります。歴史の舞台となった場所や地域については、できるだけ地図上で確認せんようにしましょう。

#### 2 統計を読み、グラフを作る

ある数値をグラフにすると、変化の度合いがよく分かります。既にグラフ化された統計を読み取るだけでなく、生徒自身がグラフを作ることは、気付きや思考を促し、理解を深めることに役立ちます。歴史的分野の学習においても、数値をグラフ化するなどの作業的な学習を取り入れ、変化の傾向や差異を読み、その理由や背景について考える学習を充実させることが望まれます。



ワークシート例



### 3 絵画資料を効果的に活用する

絵画資料は、当時の様子を推測する上で大変役に立つ資料です。教科書や資料集には、絵巻物、屏風絵、浮世絵、風刺画、肖像画など、様々な絵画資料があります。その時代の様子や文化などについての理解を深めるよう扱い方を工夫し効果的に活用したいものです。描かれているものから当時の人々の暮らしを知り、疑問や興味をもったことについて調べていくことで、その時代の社会の様子がみえてきます。

下の絵は、『一遍上人絵伝』にある「備前福岡市」です。中世に発達してきた市の様子を具体的に知ることのできる資料として、教科書や資料集にも紹介されています。

当時の市がどのようなものであったか、どんな人が集まり、どのように品物を売り買いしていたのかなど、具体的に知ることができます。生徒にこの絵を見せ、分かること、疑問に思うこと、想像できることなどできるだけたくさん出させ、学習につなげていくのもよいでしょう。また、絵を読みとらせるポイントを次のように教師が示すことで、焦点化した話し合いをさせたり、学習していく内容を整理させたりすることもできます。

- ・ いつの時代の様子か
- ・ この絵に描かれている場所はどこか
- ・ どんな人がいるか
- ・ 何をしているのか
- ・ 何を売っているのか
- ・ どのような売り方をしているか
- ・ 市はどんなところで開かれていたか
- ・ 品物は、どこから、どのように運ばれてくるのか
- ・ 市は、いつ開かれたか



『一遍上人絵伝』より

その時代を代表する人物については、肖像画や写真などを用いることも有効です。伝記や逸話、人となりを紹介して人物に対するイメージを豊かにもたせ、その人物の業績について資料に基づいて調べさせたり、その人物の働きを考えたりさせるようにしましょう。いくつかの肖像画を比較し、その違いなどから学習内容を引き出すような扱いも考えられます。例えば、幕末に来航したアメリカ大使ペリーを描いた絵などは、当時の人々がペリーに対してどのような印象を抱いていたかということを推察できる資料として扱うこともできます。

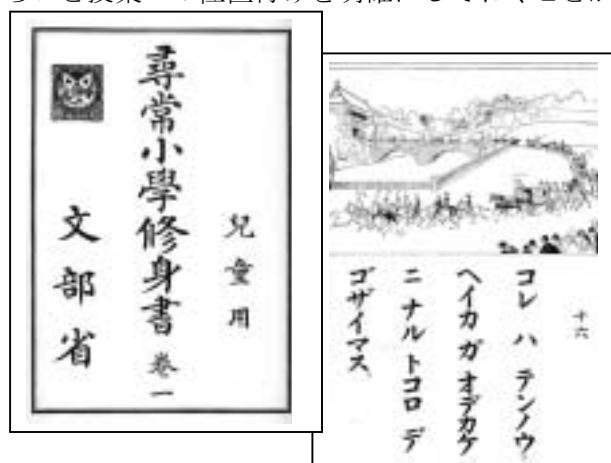
#### 4 調査・見学や、実物資料を生かす

調査・見学という方法も、生徒が歴史を身近に感じ、実感を伴った理解につながる調べ方として有効です。大正から昭和に関する事であれば、その時代を生きてきた祖父母や地域の人への聞き取り調査が可能です。また、博物館や郷土資料館を見学したり、館員に尋ねたりすることもよいでしょう。その際、事前に学習のねらいや授業での位置付けなどについて理解しておいてもらうと、調査・見学をより意味あるものにすることができます。校外での学習が難しい場合には、学校に来てもらうことや資料を借りることができるとかいう交渉も含め、協力してくれる人とよく連絡を取り、計画を立てることが大切です。また、自ら学ぶ姿勢をつくるため、週末や長期休業を利用して、そうした施設を訪れたり聞き取り調査を行ったりするよう働きかけることも必要になってくるでしょう。

実物資料も当時の人々の生活や社会を具体的に知る手がかりになります。主要な資料として授業に位置付けたり、聞き取り調査や他の資料と組み合わせたりして、効果的な活用について工夫したいものです。

なお、見学・調査や実物資料の活用にあたっては、単に興味付けで終わってしまうことのないよう学習のねらいと授業への位置付けを明確にしておくことが大切です。

社会科レポート 文年「題名」	
学年別課題	アメリカ軍による 本土爆撃について
調査内実験	太平洋戦争末期、アメリカ軍は軍需工場の爆撃から 引き続き、大都市を焼け野原にした。 次に全國の中小都市に艦隊を移し、8月15日未明までに より都市を爆撃した。日本は、朝鮮より梅雨による強烈な 暴雨襲撃により、投下訓練を目的とした爆撃、飛行機による通常攻 撃も始め、20日、21日、22日にかけて車両、富山、福井、大阪、福島 などに約50発を投下した。
聞き取り相手(おじさん)	聞き取り方法(映画・電報・メール・その他)
聞き取り回数	1回
聞き取り調査	当時、祖母は埼玉県鶴巣市にあり、祖母の検定所に勤めていた。 昭和20年8月15日未明、埼玉市に爆撃を受けた。鶴巣空襲の翌日 あいさつた。祖母は着物に、日本は終戦をむかえた、着物は翌日、錆通で祖父に 爆撃機の急降下の音が聞こえて、震ふた。そして終戦をむかえ て、父が倒れ、母の妹の嫁に焼夷弾が落ちた。 「本当に無駄な戦争をしてしまった」
まとめ	わかったこと アメリカ軍の爆撃は、8月15日未明に小田原を襲撃され、 翌日は日立郡宮崎町に空襲があり、翌日には、おばあちゃんもあつた。 感想 逃げまどるのはいつも庶民の方で、戦争は絶対いけない と思いました。



#### Q4 時代の特色を理解させるには、どのようにしたらよいでしょうか。

歴史的分野の学習では、わが国の大きな歴史の流れと各時代の特色を理解させるような指導の工夫・改善を図ることが求められています。「いつ」「どこで」「誰が」「どうした」というだけの理解では、断片的な知識の習得に終わってしまうのではないかと思います。それぞれの時代の特色を理解させるには、どのようにしたらよいのでしょうか。

#### A4 歴史的背景の関連や、因果関係に着目した学習を工夫しましょう。

今回の調査でも、個別の歴史的事象とその歴史的背景を関連させての理解が十分ではない状況がみられました。歴史的事象がどのようにして起こったのか、その結果どうなったのかをおさえることで、歴史の流れと時代の特色が分かってきます。ここでは、「関連」と「比較」をキーワードに、「時代の特色」を理解させる授業の工夫について述べます。

#### 社会科ワークシート

##### 1 相関図や年表を作り、歴史的事象を整理する

相関図や年表を作り、歴史的事象を整理することは、歴史的事象の関係や歴史の流れを理解するのに役立ちます。出来事をばらばらに覚えようとするのではなく、相互の関連でとらえることで理解が確かなものになります。右のワークシートは、尊皇攘夷運動と幕府の対応について、生徒が年表の形に整理したものです。主な事件や出来事を時系列に整理し、結果や因果関係が見えるように表しています。年表や相関図を作成することは、思考の過程や結果を表現することでもあり、生徒が自分の学習の深まりや広がりを振り返ることにもつながります。歴史的事象の関連を整理することにより、時代背景や歴史の流れの中で理解できるよう指導を工夫することが大切です。



##### 2 前後の時代と比べ、今昔の違いとその理由をつかませる

「時代の特色」を理解するためには、「その時代を政治や社会、文化の視点から、前後の時代と比べてみる」ということが大切です。「比較」することにより、他の時代との相違点や共通点がみえてきます。「前の時代は○○だったが、この時代では△△である」「そうした違いはどのようにして生じてきたのか」、前の時代との違いとその理由を考えることが大切です。

ここでは、政治や社会の変化を理解させる指導について、秀吉の統一事業を扱った例を紹介します。小学校では、「誰が、何をおこなったか」「どのようにおこなったか」ということを中心に学習してきていますので、中学校では、「なぜその政策をおこなったか」「それにはどんな意味があったのか」「天下統一にどうつながっていったのか」といった目的や結果に着目して調べ、政治や社会の大きな変化について理解できるようにします。石高制による年貢徴収の仕組みや身分制の基礎が整って武士による支配が強まり、近世社会の枠組みがつくられていったことに気付かせていくように、豊臣秀吉の行った検地と刀狩を中心にその内容と目的、結果について調べ、ワークシートにまとめていくようにします。次ページに授業案とワークシート例を示しました。

## ○学習指導要領との関連

内容の(4)イには「織田・豊臣における統一事業とその当時の对外関係のあらましをとおして政治や社会の大きな変化を理解させるとともに、武将や豪商などの生活文化の展開に気付かせる。」、「イについては、それまでの時代との違いを理解させることを中心にし、細かな史実に深入りしないようにすること。」(内容の取扱い)とあります。ここで理解させることは、中世までとは異なる社会が生まれていくという「政治や社会の大きな変化」です。

- (1) 題目 豊臣秀吉の統一事業と農民支配
  - (2) 本時のねらい

豊臣秀吉による統一事業について調べ、近世社会の枠組みが作られていったことが分かる。

主な学習活動	教師の支援	資料等
<p>1 秀吉の行った主な事業をワークシートに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝廷から閑白に任せられた。</li> <li>・太閤検地や刀狩りを行った。</li> <li>・金山や銀山を開発し、統一貨幣を作った。</li> <li>・各地の戦国大名を支配し全国を統一した。</li> <li>・朝鮮に二度出兵し、いずれも失敗した。</li> </ul> <p>2 太閤検地と刀狩りの内容を調べる。      「太閤検地」・全国の田畠の面積、収穫高、耕作者を調べ、検地帳に記録した。      「刀狩」・農民は武具を持たないように命令し、刀などを取り上げた。</p> <p>3 植地や刀狩の目的を調べ、秀吉の意図を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農民を支配し、抵抗力を失わせるとともに、年貢を納めさせる仕組みをつくる。</li> </ul> <p>4 植地と刀狩の結果と影響についてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産高はすべて石高で示されることになった。</li> <li>・莊園領主の支配が失われた。</li> <li>・農民は農業だけに従事することになった。</li> <li>・身分が分けられ、武士による支配が強まつた。</li> </ul> <p>5 他の事業についても調べ、全国統一に果たした秀吉の役割について考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本能寺の変以後、天下統一までの秀吉に関するできごとを年表で確かめさせる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な内容が分かるように検地の絵図や刀狩令の資料を活用する。</li> <li>・検地と刀狩りはどちらも農民に対する政策であることをおさえる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・太閤検地と刀狩りにより、莊園制が崩壊し、身分制の基礎が作られたという社会の変化をおさえる。</li> <li>・年貢の確保と支配体制の確立という点を中心に、近世社会の枠組みがつくれたことについての理解を図る。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの政策がどんな点で「全国統一」につながるのか、「全国統一」の意味について多面的に考えさせる。</li> <li>・朝鮮出兵の影響を説明する。</li> </ul>	肖像画 略年表 地図 ワークシート  植地の絵図 一升柾  刀狩令  地図

## ワークシート例

秀吉の統一事業について調べよう		目的・理由	結果・影響
秀吉の統一事業			
◎検地を行った。 ・全国の田畠の面積や収穫量を調べ、検地帳をつくった。			
国内	◎刀狩令を出した。 ○		
対外	○		

**板書例**

```

graph TD
    A[秀吉の統一事業] --- B[石高制]
    C[検地] --> B
    D[刀狩] --> B
    B --- E[都市支配]
    B --- F[貨幣]
    B --- G[貿易]
    B --- H[鉱山]
    B --- I[財政源の確保]
    B --- J[土地の直接支配]
    B --- K[大名への軍役]
    B --- L[身分制]
    L --- M[都市支配]
    L --- F
    L --- G
    L --- H
    L --- I
    L --- J
    L --- K
    L --- N[兵農分離]
    L --- O[一揆の防止]
  
```

世の中はどのように変わったか、そのことをどう思うか、学習したことをまとめよう。

## 問 題 構 成 表(社会)

平成15年度 中学校第2学年

社会科 N0.1

問 題 番 号			通 し 番 号	領 域	出 題 の 意 図	関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度	思 考 判 断	資 料 活 用	知 識 理 解
大 問	中 間	小 問							
1	1	地理的分野	①	地理	赤道の位置についての理解をみる				○
	2		②		経度と緯度を用いて都市の位置を表す力をみる			○	○
	3		③		2都市間の時差を求める力をみる			○	
	4		④		大陸の位置と名称についての理解をみる				○
	5		⑤		日本列島の構成についての理解をみる				○
2	1	地理的分野	⑥	地理	地図記号についての理解力をみる				○
	2		⑦		方位を読みとる力をみる			○	
	3		⑧		地形図上の傾斜についての理解力をみる			○	
	4		⑨		縮尺の理解と実際の距離を求める力をみる			○	
	5		⑩		新旧の地形図を比較して違いを読みとる力をみる			○	
	6		⑪		身近な地域の調査方法を考える力をみる		○		
3	1	地理的分野	⑫	地理	他県との比較から東京都の特徴を読みとる力をみる			○	
	2		⑬		東京都の工業の特色をとらえるための資料を選択する力をみる			○	
	3		⑭		東京都内的人口変化と地価との関連を考える力をみる	○			
4	1	地理的分野	⑮	地理	アメリカ合衆国の地形についての理解をみる				○
	2		⑯		主な穀物の世界全体に占めるアメリカ合衆国の割合について資料を読みとる力をみる			○	
	3		⑰		図に表現された内容を指摘する力をみる			○	
5	1	地理的分野	⑱	地理	日本の気候における地域差についての理解をみる			○	○
	2		(1)		「やませ」についての理解をみる				○
	(2)		⑲		冷害についての理解をみる				○
	3		⑳		都道府県の位置と名称についての理解をみる				○

問題番号			通 し 番 号	領 域	出題の意図	関心・意欲・態度	思考判断	資料活用	知識理解
大問	中間	小問							
6	1		(22)	歴史的分野	フランス革命による人権宣言についての理解をみる			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	2		(23)		産業革命についての理解をみる				<input type="radio"/>
	3		(24)		ペリーが来航した目的についての理解をみる				<input type="radio"/>
	4		(25)		天保の改革についての理解をみる				<input type="radio"/>
	5		(26)		庶民の生活に着目して資料を読み、開国の影響について考える力をみる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
7	1		(27)		明治政府の内閣制度についての理解をみる				<input type="radio"/>
	2		(28)		文明開化の様子についての理解をみる				<input type="radio"/>
	3		(29)		地租改正についての理解をみる				<input type="radio"/>
	4		(30)		西郷隆盛についての理解をみる				<input type="radio"/>
	5		(31)		憲法作成にあたりプロイセン憲法を参考にした理由を考え、大日本帝国憲法の特色を述べる力をみる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	6		(32)		条約改正の内容についての理解をみる				<input type="radio"/>
	7		(33)		遼東半島の位置を読みとる力をみる				<input type="radio"/>
8	1		(34)		バルカン半島の位置を読みとる力をみる				<input type="radio"/>
	2		(35)		日英同盟についての理解をみる				<input type="radio"/>
	3		(36)		第一次世界大戦の頃の国際状況についての理解をみる				<input type="radio"/>
	4		(37)		日本軍が出兵したシベリアの位置を読みとる力をみる				<input type="radio"/>
	5	(1)	(38)		国際連盟についての理解をみる				<input type="radio"/>
	(2)		(39)		大正デモクラシーについての理解をみる				<input type="radio"/>
	6		(40)		普通選挙法についての理解をみる		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
意識調査	1				地理的分野についての関心をみる	<input type="radio"/>			
	2				歴史的分野についての関心をみる	<input type="radio"/>			
	3				年表や地図帳を活用しようとする意欲や態度をみる	<input type="radio"/>			
	4				日常生活における社会科に関する態度をみる	<input type="radio"/>			
	5				社会科の学習を生活に生かそうとする態度をみる	<input type="radio"/>			
	6				授業で学習した地域の学び方を生かして他の地域についても学ぼうする意欲や態度をみる	<input type="radio"/>			

## 社会の学習に関する意識調査

中・社

この調査は、社会の学習に関して、みなさんがどのように思っているたまつてあるのです。あなた自身のことについて以下の質問に  
答えてください。

平成15年度 栃木県学習状況調査問題

# 中学校第2学年社会

※性別の記入のしかた	※出席番号が1～9の場合 は番号の前に0をつける。 男子：01、女子：02
(例)出席番号4番	…04

性 別	出席番 号
6	7
0	8
	9

次の質問1から質問6までのそれれに一つずつ選んで、その番号を右の□に記入してください。  
ではまるものを一つかつ選んで、その番号を右の□に記入してください。

質問1 地理の学習を楽しいと感じることがありますか。

- ①よくある。
- ②わりどある。
- ③あまりない。
- ④ほとんどない。

質問2 歴史の学習を楽しいと感じることがありますか。

- ①よくある。
- ②わりどある。
- ③あまりない。
- ④ほとんどない。

質問3 知らない地名（国名）や歴史上の人物、出来事を聞くと、地図帳や年表などで調べようと思いますか。

- ①よく調べる。
- ②わりど調べる。
- ③あまりしない。
- ④調べない。

質問4 地域の自然や人々のくらしと、歴史上の人物や出来事などを取り上げたテレビ番組や雑誌を見ることがありますか。

- ①よくある。
- ②わりどある。
- ③あまりない。
- ④思わない。

質問5 社会科の学習は、これから自分の生活に役立つと思いませんか。

- ①とても思う。
- ②わりど思う。
- ③あまりしない。
- ④思わない。

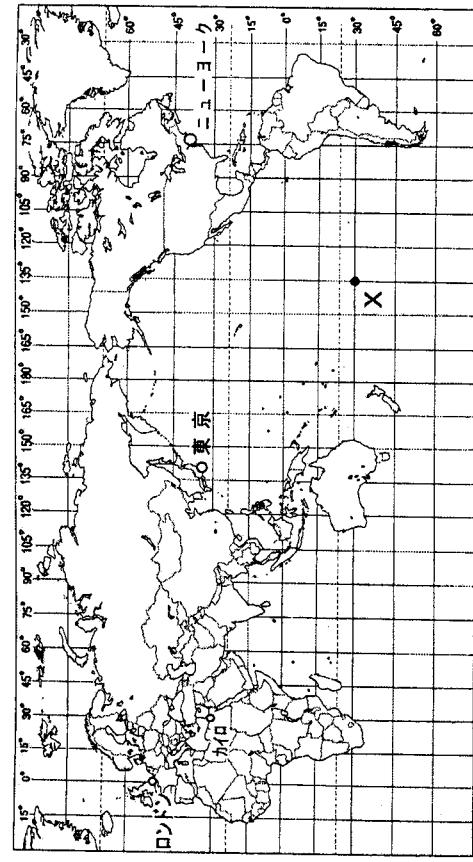
質問6 授業で学習した都道府県や国以外についても調べてみたいと思うことがありますか。

- ①よくある。
- ②わりどある。
- ③あまりない。
- ④ほとんどない。

注 意		
1 机の上には、鉛筆、消しゴム、定規、下じき以外の物を、置かないでください。		
2 表紙と解答用紙の決められたところに、組、番号、氏名を書いてください。		
3 時間は50分です。		
4 答えは、必ず、解答用紙に書いてください。		
5 印刷がはっきりしないときは、手をあげて先生に知らせてください。		
6 わからない問題はあとまわにして、ひととおりやってから、もう一度考 えてください。		
7 時間があまつたら、よく見直してください。		

\*  内の数字は正答率(%)を示す。

- 1 下の地図を見て、1から5の間にて答えてください。



- 1 緯度0°の緯線を何というか答えてください。

67.1%

- 2 地図中に示した地点Xの位置を、緯度と経度を用いて答えてください。

22.7%

- 3 地図中に示した東京とカイロの時差は何時間か答えてください。  
ただし、カイロのあるエジプトでは東経30°を標準時子午線としています。

42.0%

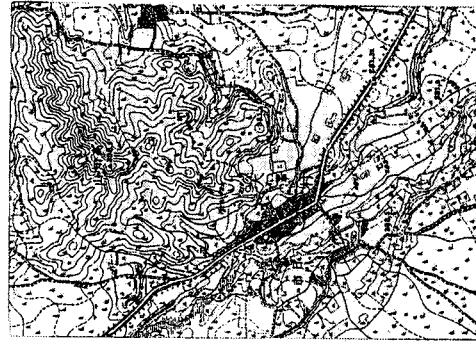
- 4 地図中に示した都市ニューヨークのある大陸の名前を答えてください。

60.8%

- 5 日本列島を構成する島の中で面積が最も大きい島の名前を答えてください。

31.0%

- 2 身近な地域の学習をグループで行うことになり、つむさんのグループは、「大沢地区と日光街道の移り変わり」というテーマで学習を進めることになりました。自分たちの住む大沢地区の大正6年と平成3年の地形図とともに、「地域の変化」について調べました。次の図I、IIをもとに1から6の間にて答えて下さい。



図I 大正6年測量「大澤」

(縮尺は2万5千分の1)  
\*大澤地区は、大正時代は大澤村でしたが、現在は今市市大澤町となっています。

- 1 地図記号△は何を示しているか答えて下さい。

71.2%

- 2 図II中のA地点から見ると高知山の山頂はどの方位になりますか。八方位で答えて下さい。

60.6%

- 3 つむさんたちは高い所から町の様子を調べようと思ったら、高知山を目指してまっすぐ斜面を登りました。しばらくならかな斜面が続きましたが、途中から急な斜面になりました。つむさんたちが登り出したのは、図II中のA、イのどちらの地点ですか。その記号を答えて下さい。

69.1%

- 4 図II中のA地点から寺までの距離は、地図上では約1.5cmです。実際の距離は約何mですか。次の1、2、3、4の中から正しいものを一つ選んで、その番号を答えて下さい。

33.0%

- 1 約37500m  
2 約3750m  
3 約375m  
4 約37.5m

- 5 図II中に示したB、Cの道路のうち、新しくできた道路はどちらですか。その記号を答えて下さい。

78.3%

- 6 「大澤地区と日光街道の移り変わり」というテーマで地域の学習を進めることにしたつむさんたちのグループは、「昔と今の地形図を比べる」ほかに、どんな方法で調べていくとよいと思われますか。簡潔に答えて下さい。

53.2%

〔3〕 東京都に関して、次の1、2、3の問い合わせに答えなさい。

- 1 下の表は、関東各都県の人口や産業についての数値を示したものです。東京都について、正しく読み取つているものを、次の1、2、3、4の中から一つ選んで、その番号を答えなさい。  
87.9%

	面積 (100km <sup>2</sup> )	人口 (万人)	産業別人口構成比 (%)	農業粗生産額 (億円)	工業出荷額 (億円)
			第1次 産業	第2次 産業	第3次 産業
茨城	6.1	3,000	8	5.8	4,147
栃木	6.4	2,000	7	5.6	2,746
群馬	6.4	2,022	7	5.6	2,289
埼玉	3.8	6,932	2	6.5	2,052
千葉	5.2	5,954	4	2.5	1,466
東京	2.2	11,911	1	2.3	7.4
神奈川	2.4	8,491	1	2.9	6.8

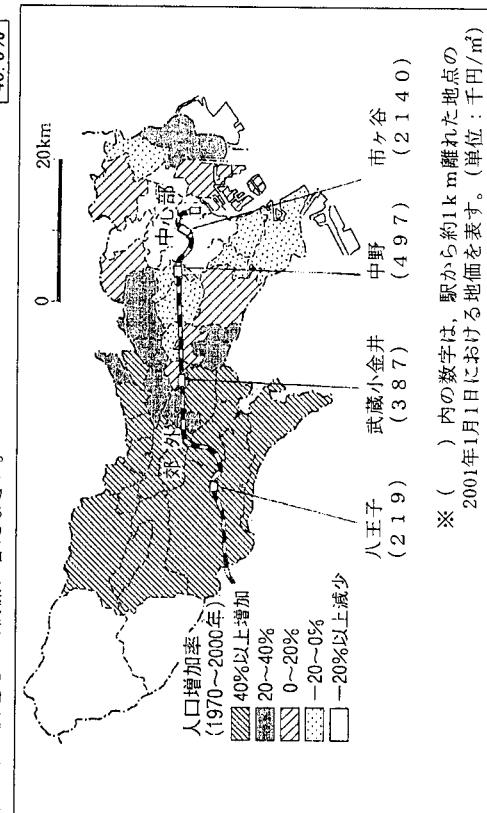
(2002 / 03 日本国勢調査などより)

- 1 東京都は、人口密度が高い。  
2 東京都は、人口が多く、第3次産業で働く人の割合が高い。  
3 東京都は、第2次産業で働く人の割合が低いが、工業出荷額は最もも多い。  
4 東京都は、第1次産業で働く人の割合が低いが、野菜や花の生産額が多い。

- 2 「東京都ではどんな工業がさかんなのか」という課題を調べるために適切な資料を、次の1、2、3、4の中から一つ選んで、その番号を答えなさい。  
60.6%

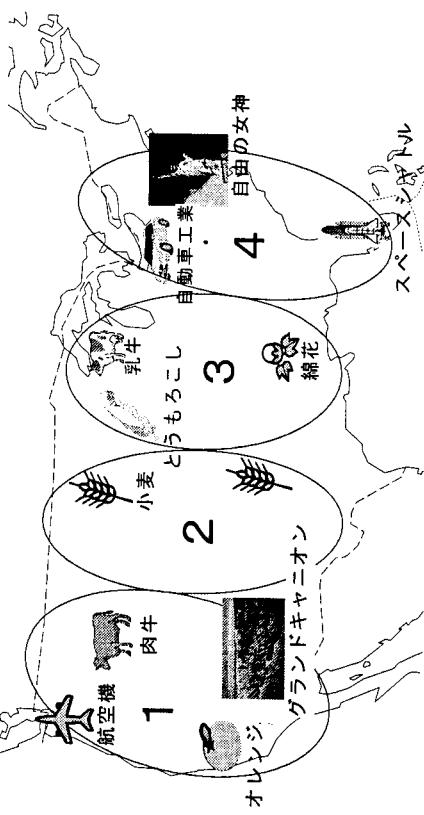
- 1 全国の工業出荷額に占める東京都の工業出荷額の割合  
2 主な工業地帯の工業製品ごとの出荷額  
3 東京都における工業の種類ごとの出荷額  
4 東京港の貿易額と輸入・輸出品目

- 3 下の図は、東京都の市町村別人口増加率とJR中央線の4つの駅周辺の地価を示している図である。この図を見て、人口増加率は「郊外」と「中心部」ではそれどのがどうなるか、地価と関連させて簡潔に答えなさい。  
40.6%



〔4〕 アメリカ合衆国に関して、次の1、2の問い合わせに答えなさい。

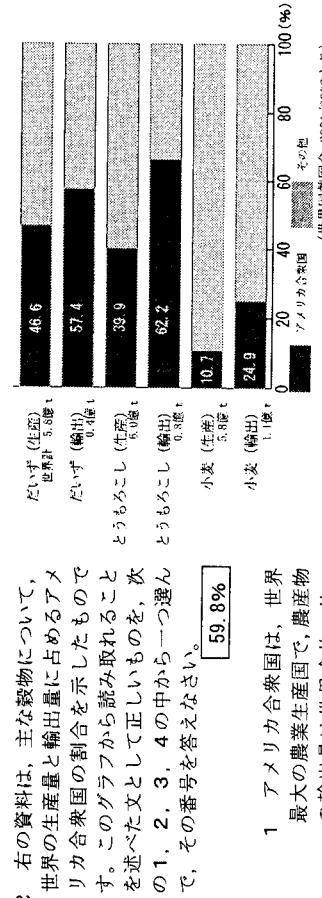
- 1 下の図は、アメリカ合衆国について調べたことをまとめたものです。この図を見て、(1)、(2)の問い合わせに答えなさい。  
87.9%



- (1) 次の文は、図中の○で囲んだ1、2、3、4のどの地域について述べたものですか。  
1、2、3、4の中から一つ選んで、その番号を答えなさい。

- この地域には、環太平洋造山帯に属するロッキー山脈があり、ヒスパニックやアジア系の人々も多く住んでいる。

- (2) 図中に表現されているものを次の1から5の中から二つ選んで、その番号を答えなさい。
- 1 人種・民族 2 観光名所 3 産業  
4 地下資源 5 気温・降水量



- 1 アメリカ合衆国は、世界最大の農業生産国で、農産物の輸出量は世界全体の約3分の1を占めている。

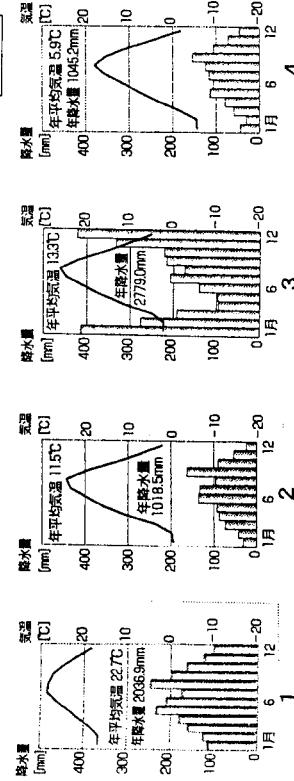
- 2 アメリカ合衆国で生産されるとうもろこしは、世界全体の生産量の約4割を占めている。

- 3 アメリカ合衆国は、だいたいとうもろこし、小麦の世界最大の輸出国であり、いずれも世界全体の輸出量の半分以上を占めている。

- 4 アメリカ合衆国は、世界最大の穀物生産国であるとともに、世界最大の穀物消費国でもある。

5 次の1, 2, 3の間に答えてください。

1 下の四つのグラフは、図中のア、イ、ウ、エのいずれかの都市の気温と降水量を表しています。イの都市の気温と降水量を示したグラフを、1, 2, 3, 4の中から一つ選んで、その番号を答えなさい。

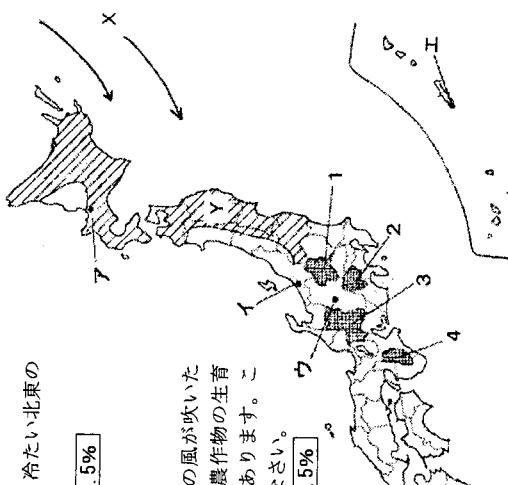


(「理科年表」2002による)

2 図中に矢印Xで示した風と、斜線部Yの地域について、次の(1)、(2)の間に答えてください。

(1) 地図中のXで示した夏に吹く冷たい北東の風を何というか答えなさい。

38.5%



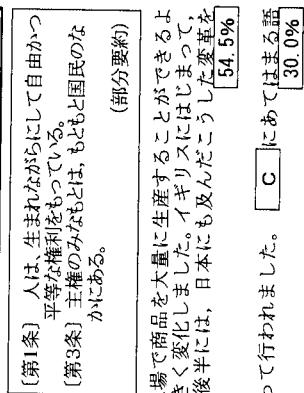
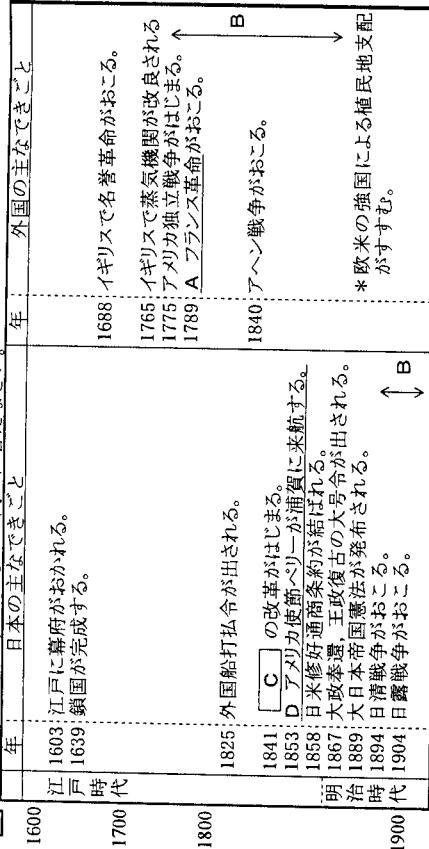
(2) 斜線部Yの地域では、(1)の風が吹いたときに、夏に気温が上がりせず、農作物の生育が悪くなる被害を受けることがあります。このような被害を何というか答えなさい。

54.5%

3 次の文で述べられている県はどこか、地図中の1, 2, 3, 4の中から一つ選んで、その番号を答え、県名も書きなさい。

この県は、中部地方の内陸県で、長野県に隣接している。また、県名と県庁所在地名が異なる。

6 下の年表を見て、1から5の間に答えてください。



[第1条] 人は、生まれながらにして自由かつ平等な権利をもつてゐる。  
[第3条] 主権のみならず、もどもど国民のないにあつる。

42.5%

1 右の資料は、下線部Aのフランス革命の時期に市民を中心とする議会が発表した宣言の一節です。この宣言を何というか答えなさい。

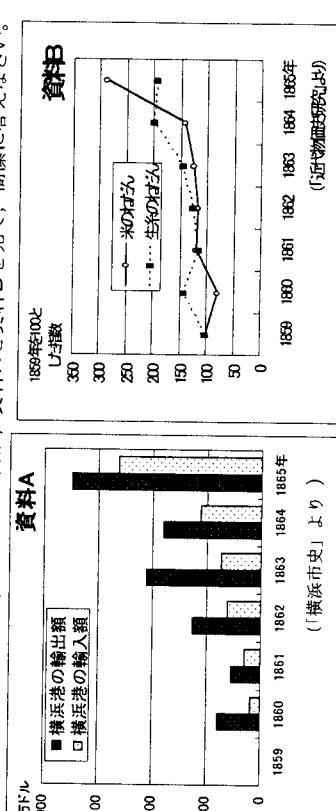
2 年表中のBで示した時期には、機械を用いた工場で商品を大量に生産することができるようにになり、産業や社会のしくみ、人々の生活が大きく変化しました。イギリスにはじまつたフランスやドイツ、アメリカに広がり、19世紀後半には、日本にも及んだことを何というか、答えなさい。

3 年表中のC の改革は、老中水野忠邦によって行われました。  
C においてはまる語  
30.0%

4 下線部Dについて、ペリーが清賀に来航した目的として適切なものを、次の1, 2, 3, 4の中から一つ選んで、その番号を答えなさい。

- 1 インド産のアンを売り込ひため
- 2 キリスト教の普及をすすめるため
- 3 水や食料などを補給する港を確保するため
- 4 琉球をゆづりわたすように要求するため

5 次の資料は、開国後の貿易額と物価の移り変わりを表しています。開国後に貿易が始まつて庶民の生活がどのように変わったのか、資料Aと資料Bを見て、簡潔に答えてください。



7 次の資料は、伊藤博文の一生を年表にまとめたものです。この年表を見て、次のページの1から7の問い合わせに答えなさい。

伊藤博文		
年	年齢	主な出来事
1841	1歳	長州藩の貧農の家に生まれる。
1858	17歳	吉田松陰の松下村塾に入る。
1863	22歳	イギリスへ留学する。
1867	26歳	(大政奉還、王政復古)
1871	30歳	岩倉使節団の副使としてアメリカ・ヨーロッパを視察する。
1872	31歳	(A 新橋・横浜間の鉄道の開通)
1873	32歳	(B 地租改正・徵兵令) 同 征韓論をめぐり、板垣退助らと対立する。
1877	36歳	(西南戦争) D プロイセンで憲法調査を行う。 ① 大臣になる。
1881	40歳	(国会開設の動議) 初代 ① 大臣になる。 (ノルマントン号事件)
1882	41歳	(大日本帝國憲法の成立) (E 不平等条約)の一部改正)
1885	44歳	(日清戦争) 同
1886	45歳	(下関条約) 同
1889	48歳	(大日本帝國憲法の成立) (F 三國干渉)
1894	53歳	(日清戦争) 同
1904	63歳	韓国統監府の初代統監になる。 満州のハルビン駅で韓国の青年に暗殺される。
1909	68歳	同

1 年表中の ① における語句を答えなさい。

57.3%

- 2 明治時代になると、下線部 A のように歐米の文化が取り入れられ、文明開化が広まりました。都市の人々の生活にどのような変化が見られましたか。その一つを簡潔に答えなさい。  
[56.4%]
- 3 下線部 B について正しく説明している文を、次の 1, 2, 3, 4 の中から一つ選んで、その番号を答えなさい。

69.1%

- 1 6歳以上の男女に口分田を割り当て、その面積に応じて租を納めさせる。  
2 在村地主の約 1ha 以上の耕地は国が買い上げ小作人に分け与えた。そのため、多くが自作農となつた。

- 3 土地の所有者から地価の 3% を現金で納めさせた。

- 4 その土地を耕作する農民に石高の 4 割から 5 割を米で納めさせた。

- 4 写真 C の人物は、<sup>伊藤博文</sup>・<sup>岩倉具視</sup>・<sup>伊藤博文</sup>・<sup>大久保利通</sup>たちとの意見の食い違いにより政府を去り、やがて西南戦争の中心人物となりました。この人物の氏名を答えなさい。

86.3%

5 下線部 D について、伊藤博文らが大日本帝國憲法の作成にあたりプロイセン(プロシア)憲法を参考にしたのはなぜですか。下の資料をもとにし、その理由を、簡潔に答えなさい。

41.0%

大日本帝國憲法（一部要約）	
第1条	大日本帝國ハ万世一系ノ天皇之ヲ統治ス
第3条	天皇ハ神聖ニシテ優スヘカラス
第4条	天皇ハ國ノ元首ニシテ統治權ヲ總覽シシ・・・

- A アメリカやフランスの憲法の特色  
B プロイセン憲法の特色  
C 皇帝に強い主権があり、権力が集中している。

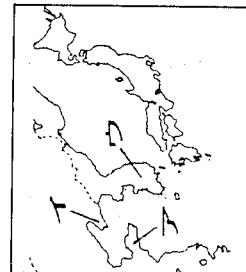
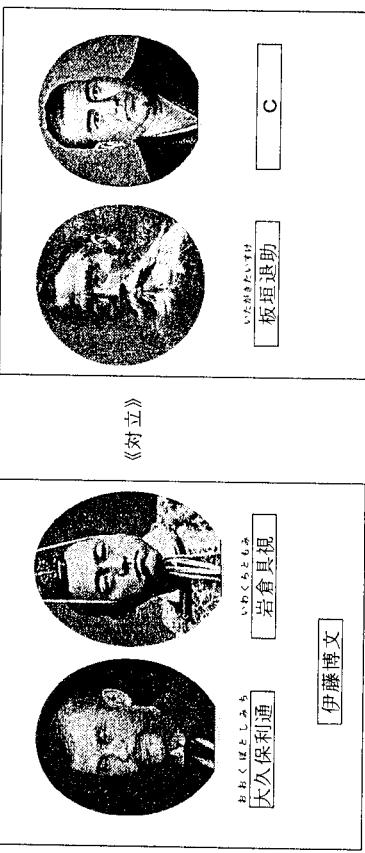
- 6 下線部 E は、外務大臣陸奥宗光がイギリスと交渉して一部改正することができました。この改正によってどのように変わりましたか。次の 1, 2, 3, 4 の中から正しいものを一つ選んで、その番号を答えなさい。

49.3%

- 1 イギリスからの輸入品の関税率を、日本が決められるようになつた。  
2 イギリスからの輸入品の関税率を、イギリスが決められるようになつた。  
3 日本でイギリス人が罪を犯したら、日本の国裁判にかけられるようになつた。  
4 日本でイギリス人が罪を犯したら、イギリスの国裁判にかけられるようになつた。

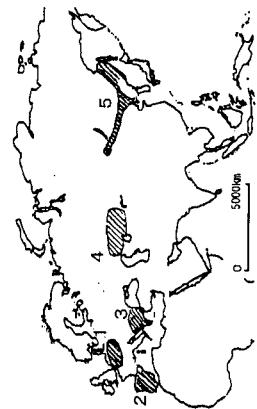
- 7 下線部 F で、日本が清に返したりヤオトン(遼東)半島はどこですか。地図中の A, I, ウの中から正しいものを一つ選んで、その記号を答えなさい。

44.7%



⑧ 次の年表や図を見て、1から6の問い合わせに答えなさい。

年	で	き	ご	と
1914	第一次世界大戦が始まる。	.....A	.....B	.....C
1915	中国政府に二十一か条の要求を出す。	.....D	.....E	.....F
1917	ロシア革命がおこる。	.....G	.....H	.....I
1918	米騒動がおこる。	.....J	.....K	.....L
1919	ベルサイユ条約が結ばれる。	.....M	.....N	.....O
1925	普通選挙法が成立する。	.....P	.....Q	.....R



1 年表中Aのきっかけとなつた事件が起こり、また、「ヨーロッパの火薬庫」とも呼ばれた地域はどこですか。地図中の1から5の中から一つ選んで、その番号を答えなさい。

2 日本は、当時ある国と結んでもいた同盟によって第一次世界大戦に参戦しました。その同盟の相手国はどこですか。次の1, 2, 3, 4の中から一つ選んで、その番号を答えなさい。

1 ドイツ 2 イギリス 3 アメリカ合衆国 4 フランス

3 年表中Bのときのヨーロッパの状況について正しく述べた文を、次の1, 2, 3, 4の中から一つ選んで、その番号を答えなさい。

1 イギリスやフランスは、ヨーロッパでの戦争に情一杯で、アジアの状況をかえりみるほどの余裕はなかった。

2 イギリスは、アジア貿易に乗り出そうとしており、東インド会社をつくった。

3 フランスでは、ナポレオンが出現し、周辺の国々を次々に従えていった。

4 ドイツは、ソ連と不可侵条約を結んだうえでポーランドに侵入し、翌年にはパリを占領した。

4 年表中Cの影響を恐れて、日本やイギリス・フランス・アメリカなどの国々はシベリア出兵を行いました。日本が出兵した地域を表したもののはどれですか。地図中の1から5の中から正しいものを一つ選んで、その番号を答えなさい。

5 次の文を読み、(1), (2) の問い合わせに答えなさい。

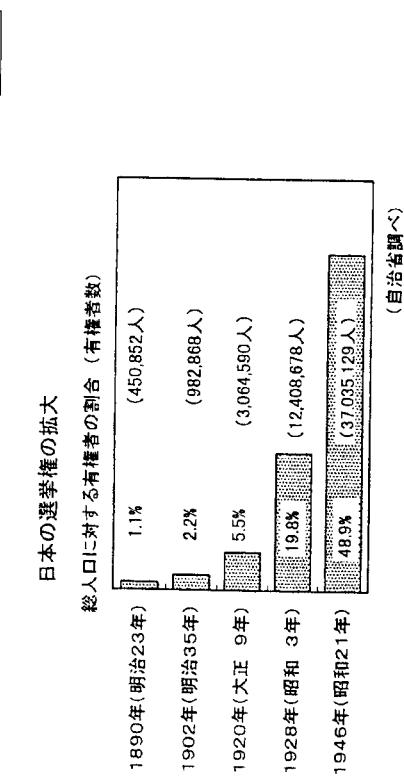
第一次世界大戦を境に、世界各国の間では、平和を望む声を背景にして国際協調の動きが強まり、1920年、世界で最初の国際平和組織である①が誕生した。日本では、政治に関心をもつ国民が増え、②と呼ばれる民主主義の風潮がおこり、政党による議会政治と普通選挙の実現を求める声が高まった。

(1) 文中の①にあてはまる語句を答えなさい。

(2) 文中の②にあてはまる語句を、次の1, 2, 3, 4の中から一つ選んで、その番号を答えなさい。

1 三民主義 2 民族自決 3 帝国主義 4 大正デモクラシー

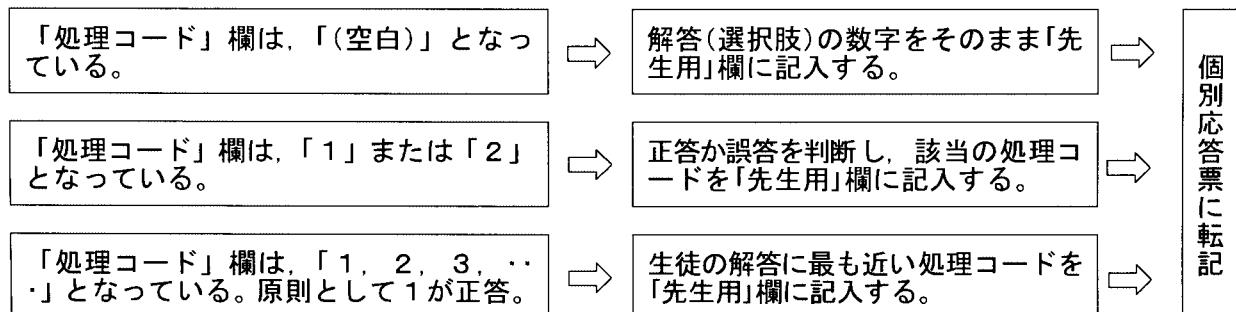
6 年表中Dによって、下のグラフのように、1928年には有権者の比率が大幅に増えました。このときには選挙権が与えられたのはどんな人ですか。次の1, 2, 3, 4の中から正しいものを一つ選んで、その番号を答えなさい。



## 採点基準及び個別応答票記入上の手引き（社会）

### [留意事項]

- センターへの報告は、「個別応答票」に処理コードを転記することで行う。  
（「配点例」は、学校が独自に集計分析する場合の例示であり、センターへの得点の報告は行わない。）
- 「個別応答票」に転記する処理コードの記入の仕方は、次のとおりである。
  - ・記入ミスを防ぐために、まず解答用紙の「先生用」欄に採点基準に示した処理コードを記入し、次にそれを「個別応答票」に転記する。



平成15年度 中学校第2学年

社会科 No. 1

問題番号			通し番号	正 答 (解 答 類 型)	処理 コード	採点上及び転記上の留意点		配点例	
大問	中間	小問				無答は処理コード 8	未履修は処理コード 9 (解答は、ひらがな、かな混じりでもよい。)		
1	1		①	赤道	1				
				本初子午線	2				
				その他の誤答	3				
	2		②	南緯30°, 西経135°	1	3			
				緯度30°, 経度135°	2				
				緯度135°, 経度30°	3				
				その他の誤答	4				
	3		③	7時間	1				
				誤答	2				
				北アメリカ（北米）大陸	1				
	4		④	アメリカ大陸	2				
				その他の誤答	3				
				本州	1				
	2		⑤	誤答	2				
				工場	1				
				誤答	2				
				北東	1				
				誤答	2				
				ア	1				
				誤答	2				
				3					
				B	1				
				誤答	2				
	6		⑪	昔のこの地域のことを知っているお年寄りや近所の人に話を聞く。	1		同様の意味なら正答とし、内容によってコード番号を選ぶ。		
				写真や絵、本などの昔の様子が分かる資料を集める。	2				
				その他の正答	3				
				誤答	4				

問題番号			通し番号	正 答 (解答類型)	処理コード	採点上及び転記上の留意点		配点例	
大問	中間	小問				・無答は処理コード 8	・未履修は処理コード 9		
3	1		⑫	2				2	
	2		⑬	3				2	
	3	⑭	・中心部と比べて地価の安い郊外での人口増加率が高い。 ・地価の安い郊外では人口増加率が高く(人口が増加し), 地価の高い中心部では人口増加率は低い(人口が減少している)。		1	中心部と郊外の人口増加率の違いを地価との関係から正しく読み取っているものを正答とする。		4	
				(人口増加率の違い)のみ記述。	2				
				人口増加率(人口の変化)を人口または人口密度の違いと間違えて答えている。	3				
				その他の誤答	4				
4	1	(1)	⑮	1				2	
	(2)	⑯	2と3		1	完全正答。		2	
			誤答		2				
	2		⑰	2				2	
5	1		⑱	3				2	
	2	(1)	⑲	やませ		1		3	
				誤答		2			
	(2)	⑳	冷害		1	漢字のまちがいは不可。		3	
			誤答		2				
	3	㉑	位置: 2 県名: 山梨県		1	完全正答。		3	
			位置のみ正解		2				
			県名のみ正解		3				
			その他の誤答		4				
6	1		㉒	人権宣言	1			3	
	2	㉓	独立宣言		2				
			その他の誤答		3				
			産業革命		1			3	
	3	㉔	誤答		2				
			天保		1			3	
			「享保」または「寛政」		2				
	その他の誤答				3				
4			㉕	3				2	

問題番号			通し 番号	正 答 (解 答 類 型)	処理 コード	採点上及び転記上の留意点		配 点 例
大問	中間	小問				・無答は処理コード 8	・未履修は処理コード 9	
6	5	⑥	②⑥	開国による輸出入額の急増に伴って、(輸出額が輸入額を上回り)物価(米などの値段)が上がり、民衆の生活は苦しくなった。	1	グラフから貿易額の急増(輸出超過)と物価高騰の2つを読み取り、生活が苦しくなったことを書いているものを正答とする	4	
				(生活の変化)のみ記述。	2			
				(グラフの読み取り)のみ記述: ・資料Aまたは資料Bの片方 ・資料A,資料Bの両方	3			
				資料A, 資料Bいずれかのグラフの読み取りと、生活の変化についての記述。	4			
				その他の誤答	5			
7	1	⑦	②⑦	内閣総理	1		2	
				誤答	2			
	2	⑧	②⑧	・洋服を着る人が出てくる。など	1	文明開化に関わる内容であれば正答とする。	3	
				誤答	2			
	3	⑨	②⑨	3			2	
	4	⑩	②⑩	西郷隆盛	1		3	
				誤答	2			
	5	⑪	②⑪	「日本は」、天皇中心の国づくりを進めていたので、君主権の強いプロシアの憲法を参考にした。	1	同様の意味なら正答とする。	4	
				誤答	2			
	6	⑫	②⑫	3			2	
	7	⑬	②⑬	イ	1		2	
				誤答	2			
8	1	⑭	②⑭	3			2	
	2	⑮	②⑮	2			2	
	3	⑯	②⑯	1			2	
	4	⑰	②⑰	5			2	
	5	(1)	②⑱	国際連盟	1		3	
				誤答	2			
	(2)	(2)	②⑲	4			2	
				3			2	

# 応答状況一覧表(社会)

中 2 社

No. 1

問題番号				応 答	応答率				問題番号				応 答	応答率				問題番号				応 答	応答率			
大 問	中 間	小 問	通 番 号		全 県	A	B	C	大 問	中 間	小 問	通 番 号		誤	23.1	20.6	26.2	21.8	大 問	中 間	小 問	通 番 号	正	38.5	29.2	40.1
1	1	①	①	67.1	67.2	67.7	66.1	2	6	⑪	誤	23.1	20.6	26.2	21.8	5	1	⑯	正	38.5	29.2	40.1	46.5			
			2	13.4	10.3	14.1	15.6				無	23.6	23.3	22.9	24.8				誤	46.0	51.5	46.5	39.0			
			3	10.1	10.8	10.8	8.6				未	0.1	0.0	3.5	0.0				無	15.5	19.3	13.3	14.5			
			無	9.4	11.7	7.4	9.7												未	25.9	23.9	19.0	36.4			
																			正	54.5	44.2	56.7	62.7			
	2	②	①	22.7	23.2	21.4	25.1				1	3.1	2.5	3.4	3.2				誤	20.7	22.2	21.1	18.2			
			2	15.4	12.3	16.5	14.3				②	87.9	88.6	86.2	89.6				無	24.9	33.6	22.2	19.0			
			3	9.6	8.7	9.5	11.3				3	5.8	6.7	6.2	4.6				未	26.0	23.9	19.0	36.4			
			4	38.9	43.7	40.5	35.0				4	1.6	1.1	2.4	1.3				2 完正	49.3	46.7	51.5	49.1			
			無	13.3	12.1	12.1	14.3				5	0.3	0.3	0.0	0.5				①	12.8	11.2	13.4	13.6			
			未	0.1	6.7	0.1	0.1				無	1.3	0.8	1.8	0.8				2	8.0	7.3	6.7	10.5			
1	3	③	正	42.0	37.8	42.4	45.6				未	2.4	0.0	6.6	0.0				3	2.6	2.1	3.2	2.3			
			誤	40.6	47.5	38.1	36.9				4	64.1	63.6	63.7	64.6				無	12.7	15.7	12.9	8.9			
			無	17.4	14.7	19.5	17.5				5	10.7	8.4	6.3	18.3				5 完正	4.3	2.5	4.5	5.7			
											⑤	42.5	45.6	40.9	41.5				未	23.2	24.4	22.1	23.5			
											⑥	42.5	45.6	40.9	41.5				1 完正	9.3	10.1	8.7	9.4			
	4	④	①	60.8	58.9	61.3	61.9				2	14.2	13.1	14.7	14.6				2 完正	49.3	46.7	51.5	49.1			
			2	16.0	15.8	16.0	16.2				3	20.1	16.9	22.3	20.5				3 完正	12.8	11.2	13.4	13.6			
			3	16.1	16.7	15.6	16.2				4	23.2	24.4	22.1	23.5				4 完正	8.0	7.3	6.7	10.5			
			無	7.1	8.6	7.1	5.9				⑦	14.9	13.9	19.0	10.8				5 完正	2.6	2.1	3.2	2.3			
											⑧	41.2	44.7	39.4	39.8				6 完正	30.0	28.3	29.7	32.1			
2	3	⑤	正	31.0	32.2	28.8	32.6				2	13.9	13.1	11.9	17.3				7 完正	17.3	16.4	14.9	21.0			
			誤	47.3	45.3	49.6	46.4				3	14.9	13.9	19.0	10.8				8 完正	9.1	8.1	7.5	12.4			
			無	21.7	22.5	21.6	21.0				4	22.5	23.3	24.2	19.7				9 完正	22.1	23.9	20.1	22.6			
											⑨	17.6	18.3	20.6	13.2				10 完正	28.6	31.1	29.9	24.5			
											⑩	14.1	15.6	14.9	11.6				11 完正	26.0	28.1	23.4	27.2			
	4	⑥	正	71.2	81.1	63.8	70.9				1	12.0	11.1	13.9	10.7				12 完正	57.3	53.3	55.2	63.9			
			誤	17.3	11.4	22.1	17.0				2	59.8	59.7	59.5	60.2				13 完正	25.5	27.0	25.8	23.7			
			無	11.5	7.5	14.1	12.1				3	15.8	16.4	14.7	16.6				14 完正	47.6	44.1	50.1	47.5			
											4	9.1	10.3	9.3	10.4				15 完正	11.2	13.5	9.8	10.9			
											5	0.1	0.0	0.0	0.3				16 完正	2.9	0.0	0.0	9.2			
2	5	⑦	正	60.6	62.0	58.0	62.5				1	12.0	11.1	13.9	10.7				17 完正	56.4	53.6	56.0	59.6			
			誤	29.8	28.6	31.6	28.6				2	59.8	59.7	59.5	60.2				18 完正	19.4	18.9	19.7	19.7			
			無	9.6	9.4	10.4	8.9				3	15.8	16.4	14.7	16.6				19 完正	11.2	13.5	9.8	10.9			
											4	9.9	10.3	9.3	10.4				20 完正	0.6	0.8	0.5	0.6			
											5	0.1	0.0	0.0	0.3				21 完正	6.0	5.8	6.3	6.0			
	6	⑪	正	28.9	30.8	27.3	29.1				6	18.5	23.8	14.3	18.3				22 完正	14.4	13.6	17.7	11.1			
			誤	9.9	11.7	5.8	13.2				7	14.1	15.6	14.9	11.6				23 完正	28.6	31.1	29.9	24.5			
			無	2.3	2.2	3.0	1.6				8	26.0	28.1	23.4	27.2				24 完正	17.6	18.3	20.6	13.2			
											9	18.5	23.8	14.3	18.3				25 完正	14.4	13.6	17.7	11.1			
											10	14.4	13.6	17.7	11.1				26 完正							

問題番号				応 答	応 答 率				問題番号				応 答	応 答 率									
大 問	中 間	小 問	通 番 号		全 県	A	B	C	大 問	中 間	小 問	通 番 号		全 県	A	B	C						
7	3	②9	1	13.7	18.1	13.9	9.4	3	③6	①	45.0	36.7	45.9	51.5	4	9.1	11.9	7.1	8.9				
			2	8.3	8.3	7.4	9.4				3	11.4	14.8	10.0	9.9	31.1	32.5	4.7	27.5				
			③	69.1	63.1	70.3	73.4				4	0.4	0.8	0.0	0.6	23.4	25.0	26.3	18.4				
			5	6.0	7.2	5.6	5.1				5	2.9	3.3	2.8	2.7	2.9	3.3	2.3	1.6				
			無	0.0	0.0	0.0	0.0				未	23.4	25.0	26.3	18.4	23.4	25.0	26.3	18.4				
	4		正	86.3	84.2	85.5	89.2		④7		1	6.1	8.9	5.1	5.3	6.7	7.5	6.9	5.7				
			誤	6.7	7.5	6.9	5.7				2	6.3	5.6	7.6	6.0	7.0	8.3	7.6	5.1				
			無	7.0	8.3	7.6	5.1				3	10.2	12.5	11.1	8.2	33.9	38.4	33.1	30.2				
			正	41.0	38.3	39.8	44.7				4	18.6	15.2	22.7	18.8	25.1	23.3	27.1	25.1				
			誤	25.1	23.3	27.1	25.1				⑤	52.5	51.5	53.3	56.4	33.9	38.4	33.1	30.2				
8	5	③1	無	33.9	38.4	33.1	30.2				6	0.0	0.0	0.0	0.0	23.4	25.0	31.3	18.3				
			1	28.5	21.9	28.8	35.3				7	正	42.4	36.7	38.6	52.1	5.7	5.3	5.1	5.3			
			2	5.7	5.3	7.6	3.5				8	誤	30.8	29.2	36.1	26.1	49.3	54.2	47.8	46.0			
			③	49.3	54.2	47.8	46.0				9	無	26.8	34.1	25.3	21.8	12.6	12.8	13.0	11.9			
			4	12.6	12.8	13.0	11.9				10	未	23.4	25.0	26.4	18.3	0.1	0.0	0.0	0.0			
	6		5	0.1	0.0	0.0	0.0		④9		11	正	44.7	45.3	43.5	45.4	3.8	5.8	2.8	3.0			
			無	3.8	5.8	2.8	3.0				12	誤	52.2	49.2	54.1	53.2	2.9	0.0	0.0	0.0			
			未	2.9	0.0	0.0	0.0				13	未	23.6	24.9	26.5	18.4	完 正	7.5	7.5	8.7	5.9		
			正	44.7	45.3	43.5	45.4				14	完 正	22.5	18.6	19.9	29.6	完 正	7.5	7.5	8.7	5.9		
			誤	52.2	49.2	54.1	53.2				15	1	18.6	15.2	20.3	19.5	無	3.1	5.6	2.4	1.4		
8	1	④0	無	3.1	5.6	2.4	1.4		④10		16	2	8.5	10.8	9.1	6.0	完 正	23.3	25.0	26.5	18.4		
			正	42.2	39.2	45.3	41.6				17	③	52.9	49.2	50.3	59.1	完 正	15.3	18.5	15.0	12.5		
			誤	18.5	18.9	15.9	21.2				18	4	17.9	21.1	18.2	14.8	10.3	7.1	12.4	10.9			
			無	7.6	7.7	5.6	9.5				19	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.8	0.3	0.4			
			未	0.4	0.8	0.3	0.0				20	無	2.1	3.7	2.0	0.6	5.7	7.7	5.6	4.3			
	2		無	5.7	7.7	5.6	4.3				21	未	23.5	25.0	26.5	18.4	23.3	25.0	26.5	18.3			
			正	69.1	65.5	69.3	72.0				22	1	18.6	15.2	20.3	19.5	13.2	12.3	13.6	13.8			
			誤	10.3	11.5	10.0	9.5				23	2	8.5	10.8	9.1	6.0	5.1	7.1	4.7	3.7			
			無	5.1	0.4	0.3	0.0				24	③	52.9	49.2	50.3	59.1	2.2	3.3	2.3	1.0			
			未	23.4	24.9	26.3	18.3				25	4	17.9	21.1	18.2	14.8	23.4	24.9	26.3	18.3			

※「応答」の欄の数字は、解答選択肢または採点基準の解答類型に対応しており、正答を○で囲んで示した。

※「応答」の欄の「無」は無答であったことを、「未」は未履修であったことをそれぞれ表す。

※未履修がある問題については、未履修分を除き、解答した生徒数を分母として、正答率、誤答率、無答率の合計が100%となるように換算した。

※大問ごとに示した「完正」は、その大問のすべてに正答した生徒の割合である。

※「応答率」の欄のA, B, Cは、市町村の人口規模別による分類（A-10万人以上, B-3万人以上10万人未満, C-3万人未満）を表す。

※「応答率」に示した割合の数値は、少数第二位を四捨五入しているため、各問（小）問）の数値の合計が100にならないこともある。